
遊戯王GX・栄光と引き換えの転生

パラドックス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王GX・栄光と引き換えの転生

【Nコード】

N4008V

【作者名】

パラドックス

【あらすじ】

飲酒運転から子供を救い死んだ少年・械・シン
彼のことを哀れに思った神様は彼の望む世界に転生させてくれること
とに

シンが望んだのは遊戯王GXの世界

今彼の愉快的転生が始まる

プロローグ(前書き)

初めてですよろしく願いします

プロローグ

主人公・械・シンは飲酒運転から子供を庇い死んだ少年

神様は本来なら遊戯王で世界チャンピオンの栄光を手にする彼を哀れに思いシンの望む世界・遊戯王GXの世界へ転生させる

彼のどたばたな学園生活が今つ始まる

シンク口あり・エクシーズあり・オリカあり・チートドローあり・遊戯王Rのキャラがたまに出てきます

果たしてシンは栄光と引き換えにそれ以上の物を手にすることが出来るのか？

笑いあり・ワンターンキルあり・読む人のアイデアも取り入れます

始まり（前書き）

よろしくお願ひします
今回はデュエルな事です

始まり

とある空間

シン

シン

「うるせえな」「シン・真っ白な空間にびっくり？」「ここはどこの私は誰？」「シン

「ここは主の精神世界じゃ」「？

「精神世界？」「シン

「そうじゃ主の世界の多次元宇宙論を知っておるか？」「？

「ああ・確か複数の世界に同姓同名で容姿がそっくりな人間がいるやつ？」「シン

「そうじゃ」「？」

「察するにあんたは神様か？」シン

「・・・・・・・・・・・・・・・・なんでそれが分かったのじゃ？」
神様

「俺は様々なネット小説を読んでな真つ白な空間にほつり出される現状でそうゆうのはパターン化されて大抵神様なんだよ？初めてだけど・そんでもって転生させてくれるパターン」シン

「それじゃあ手っ取り早い・主にはその権利が・「遊戯王GXの世界で」・はやっ？」

「それとカード引き継ぎと俺専用オリカもお願い」シン

「しょうがないのう」神様

杖をふりGXの世界の扉を開く

「いつてらっしやい」神様

「あっそうだ」シン

「何じゃ？」神様

「俺の死んだ理由教えて」シン

「実はな・・・トラックの飲酒運転から子供を救ったのじゃ・・・
本来なら主は遊戯王とゆうカードで世界一になる予定だったのじゃ・・・
主が勇気で運命を変え・小さな命を救った輝かしい栄光と引き換え
に・ゆえに主の望む世界に連れていくことを決意したのじゃ」神様

「そうか・・・さっきの態度はすいませんでした」シン

「いやいい・さあ行くがよい・かけがえのない夢の世界に」神様

「行くぜ」シンはGXの世界の扉の向こうに入った

? クロノス(試験用デッキ) ワンターンキル(前書き)

シンのGXでの経歴

械・シン

経歴

両親の奨めもありなおかつ精神年齢が大人のため四歳からサイバ―流を学ぶ

六歳の時サイバ―流マスターする試験の前日・両親が他界
転生したとはいえ自分を1番に応援してくれた優しい人だったため
精神的ショックでサイバ―流のマスターを一時的に辞退する

同じ頃カイザーが入門

カイザーとのデュエルで熱き魂と両親のために頑張るつと復活

サイバ―流のマスター試験で見事合格

ペガサスが見学していてペガサスにペガサスミニオンに入らないか
?つと誘いを受けサイバ―流マスターの資格を放棄するがマスター
鮫島はサイバ―エンドドラゴンをシンに托す

シンはペガサスミニオンに入りシンクロ召喚・エクシーズ召喚の提
案などして今にいたる

? クロノス(試験用デッキ) ワンターンキル

「明日か」 シン・ペガサスが用意したホテルの個室

明日はGXの始まりの日である入学試験だ

「そついやカイザーって来るっけ？」 シン・頑張っと思っていだそつと
する

「駄目だ曖昧で思い出せない。」 シン

(困ったもんだ・いくらGXはとぎれとぎれしか見てないとはいえ
なあ?)

コンコンとホテルの個室のドアを叩く音がする

「どちら様？」 シン

「僕だよ・天馬夜行だよ」 夜行

「夜行????マジで夜行か？」 シン・慌ててドアを開ける

そこには遊戯王Rで悪役の夜行がいた

GXの世界ではペガサスミニオンとゆう立場はかわりないがインダストリアルイリユージョン社のイベント企画部の管理責任者だ

「なんの用？」シン・夜行を部屋に入れる

「以前君が提案したシンクロ召喚とエクシーズ召喚の案が通りまず実験としてデュエルアカデミアでの決闘でデータを取って徐々にこの世に出す形を取ったんだ」夜行・

「それめっちゃプレッシャー？・明日の試験に合格しなかったらどうすんだよ？」シン

「君は筆記が一位でペガサス様の推薦もあるから大丈夫」夜行

(？夜行ってRと違って結構明るいよな？・まあ初めて俺がペガサスミニオンに入った時に話しかけてくれたのは夜行でイメージと違ってびっくりしたけど)

「あつ肝心な物を渡さなきゃいけないの忘れてた」夜行

仕事用のかばんからデッキケースを三つ出す

「それは？」シン

「ペガサス様が実験段階で作ったシンクロ召喚とエクシーズ召喚のカードだよ」夜行・シンにデッキケースを渡す

俺は内容を確認する

一つ目はシンクロンデッキ

これは俺が前世の時に使っていたデッキのパーツが殆どだった

二つ目はエクシーズ

グレンザウルスはともかくホープやリバイスが入っているのには驚いた

しかもデメリット無し

俺が前世の時はエクシーズがまだ出たばかりで使い勝手が悪いイメージしかなくこれ程エクシーズが使い勝手が良いと感じたことはない

三つ目はデブリシンクロ

しかもこの世界の純制限・制限に対応するので前世の俺のいた時よりさらにえげつないことになるのではないか？

ただでさえ「天使の施し」が制限とはいえ墓地肥やしには持ってこないだ

「とりあえずサンキュー」シン

「一応聞くけど明日どんなデッキを使うの？」夜行

「サイバーデッキ」シン

「……きつと上級生は驚くねなんせ君はカイザーの兄弟子だから」

夜行

「そんなんじゃない・・・あいつは俺を立ち直らせてくれた恩人だから」シン

「もう夜が遅いね一応Mrクロケッツが迎えにくるよ」夜行

「夜行・・・みんなによろしく」シン

「うん・・・じゃあお休み」夜行・部屋を出る

次の日

コンコン

「Mrクロケッツか？」シン

「シン様・準備は出来ましたでしょうか？」クロケッツ

「ああ」シン

サイバー流デックスをデッキケースに入れる

「行くぞ」シン

Mrクロケッツが用意した車に乗る

車内

「会場に着きました」運転手

「ありがとう」「シン

」ではシン様ご武運を」「クロケッツ

」ああ」「シン・車を降りる

デュエルアカデミア試験会場

試験会場に入るとタイミングよく

「試験番号1番二人とも来なさい」「アナウンス

」1番?つとゆうことは三沢と一緒にか」「シン

試験決闘場に移動すると三沢とあった

「君か?二人目の一位は?」「三沢

」ああ・俺の名前は・鎧騎・シン」「シン

」俺の名前は三沢大地だよろしく」「三沢

」よろしく」「シン

試験決闘場

「あなたの相手は私がするノーネ」「クロノス

」よろしくお願いします」「シン

」では」「クロノス

お互い深呼吸をする

「^{デュエル}決闘」

「私のターンドロウ・私はボーガニアンを召喚しリバーズカードをセツトマジックカードターンジャンプを発動」クロノス

「何？」シン

（確かクロノスはアンテイクギアデツキのはず・・・試験用デツキか！・それにしてもターンジャンプの効果って確か）

「このカードの効果は三ターンお互いの時が経過することナノーネ・そしてボーガニアンの効果自分のスタンバイフェイズごとに600のダメージを与えるノーネよって3×600のダメージをあなたに与えるノーネ」クロノス

「うわっ！」シン

LP

4000 - 1800 = 2200

「さらに手札を一枚捨て手札よりマジック発動コストダウン・この効果で私のモンスターのレベルが二下がりますーのそして強欲な壺発動二枚ドロウするノーネさらに二重召喚発動ナノーネこのカードの効果で通常召喚できるノーネこれによりボーガニアンを生け贄にThe・bigS A T U R Nを召喚シマスーノこれでターンエンドナノーネ」クロノス

（サターンを倒したらサターンの攻撃力分ダメージがお互い受ける・

そのためにボーガニアンでライフを削ったのか手札にはサイバードラゴン三枚にデコイチ二枚・次のターン貫通能力のあるカードをドロ―されたら負けるこのドロ―に全てがかかっている) シン

「ドロ―」シン

(強欲な壺がまだ希望がある頼む来てくれパワーボンド)

「俺は強欲な壺を発動カードを二枚ドロ―する」シン

二枚のドロ―カードを確認

(融合だめだこれじゃあ・・・ん?・・・)

「どうしたノーネ?」クロノス

「勝った俺は手札から融合発動手札のサイバードラゴンを三体融合」
シン

「ま・まさか」クロノス

観戦していた生徒が騒ぐ

(嘘だろ・あれはカイザーの物のはず) 万場目

(お兄さんの他に使いこなす人がいるの?) 翔

「融合召喚・いでよ・サイバー・エンド・ドラゴン」シン

「ナンデスとー」クロノス

「行けサイバー・エンド・ドラゴン・エターナル・エボリューション・バースト」シン

サイバーエンドドラゴンがサターンを破壊

「この瞬間サターンの効果発動互いはサターンの攻撃力分のダメージを受ける」クロノス

「勝ったと言ったはずですよ先生・速攻魔法発動・痛恨の呪術・このカードの効果で俺が受ける効果ダメージは相手が代わりに受ける」
シン

「マンマミーヤ」クロノス

LP

4000 - 6800" - 2800

勝者シン

シンはデュエル終了後周りを見てカイザーを探す
カイザーを見つけるとフツと笑っていた

(それから俺は十代の決闘を見てクロケッツが用意した車でペガサスの別荘に帰っていった)

？クロノス（試験用デッキ）ワンターンキル（後書き）

いかがだったでしょうか？

激闘??万場目・シンクロはチートです(前書き)

今回シンが使うのは全盛期トリシェーラデッキです

激闘??万場目・シンクロはチートです

アカデミア行きの船の中

俺は三沢と話していた

「やはりハイドロゲドンのために攻撃力変動カードを入れるべきか？」
「三沢

（俺が入学試験のデュエルでワンターンキルをやってしまい周りから質問攻めをくらった

めんどくさい・正直に言えば前世では俺は先生に質問しまくったがくだらないことだとめんどくさい顔をした先生が好きではなかった

だが今なら分かる

自分から見ればくだらない質問に答えることほどめんどくさい物はない

前世にいる先生すいませんでした

だが三沢みたく純粋に進化を求める奴からの質問は嫌いじゃない

将来の決まってるやつは今からでも強くなるべきだったとゆうのが俺の考え・三沢の熱心な質問に応えよう・彼をエアーマンにさせないために)

「やはり攻撃力変動だけじゃなく・エネミーコントローラーなどはどうだ？」
「シン

「確かに凡庸性が高いし・上級モンスターが来ても臨機応変に対応できるな」三沢

「まもなく船がアカデミアに着くぞ」監督者

数分後

デュエルアカデミア

「ここが……デュエルアカデミア……」三沢

「空気ウマッ！」シン

三沢転ぶ

「そこなのか？君が驚くところは？」三沢

「まあな・お互いに同じ寮だといいな」シン

「ああ」三沢

とりあえず俺達は新入生歓迎の入学式を行った

相変わらずだがマスター鮫島は変わってないのでホッとした

予想どおり俺はライイエロー制服を受け取り・三沢の近くに行き十

代と出会った

「よお・三沢やはりライイエローか」シン

「あんた誰？」十代

「ってアニキ知らないんスカ？この前入学試験でワンターンキルをきめて三沢君と同率一位で入学した械・シンですよ」翔

「マジで？」十代

「自己紹介するのを忘れてた・俺の名前は械・シン」シン

「俺は遊戯十代」十代

「僕は丸藤翔つすよろしくっす」翔

「おい貴様」万丈目

(出た初期差別キャラ万丈目)シン

「何だ？」シン

「俺と決闘しろる許可は下りてるからデュエル場でな」万丈目

「いいよ・デッキとり行ってくるから待ってる」シン・ライイエロー
一察までデッキを取りに行く

引き返す途中翔と十代と三沢と再会した

「やめたほうがいいっすよ相手はオベリスクブルーっすよ」翔

「だが受けたからには自信があるんだよな？」十代

「YESオフコース」シン

「またサイバードラゴンデッキか？」三沢

「違う・今から使うのは実験段階のデッキ」シン

「そんなに勝てるんスカ？」翔

「大丈夫・えげつない勝ち方で相手を倒すから」シンは再び走り出し携帯をだしてとあるところに連絡した

「何だ？」海馬

「例のカード使いますんでデータお願いします」シン

「了解した」海馬

デュエル場

「よくも来たものだな」万丈目

「あつたりまえ・売った決闘は買う・それがデュエリストだろ」シン

「減らず口もそこまでにしとけ・万丈目さんは強いんだぜ」取り巻き¹

「あつそ・さつさと始めようぜ」シン

「」「デュエル」「」

「俺の先行ドロロー。俺はヘルソルジャーを召喚カードを二枚セットし天使の施しを発動デッキからカードを三枚引き手札からカードを二枚捨てる。これでターンエンド（伏せカードは奈落の落とし穴とヘルポリマー。これならサイバーエンドドラゴンのワンターンキルでも大丈夫なはずだ）」万丈目

「俺のターン・ドロロー」シン

（これは・・・このターンで勝てとゆうことか）

「怖じけづいたならサレンダーしてもいいんだぞ」万丈目

「勝った。俺は手札から天使の施し三枚引き手札から二枚捨てる。コストで送ったダンデ・ライオン効果発動。二体のトークンを特殊召喚。さらに手札からチューナーモンスター・デブリドラゴンを召喚。」シン

「…………チューナー？」…………

「デブリドラゴンの効果墓地の攻撃力500以下のモンスターを蘇生する俺はダンデライオンを選択し特殊召喚。さらに大嵐発動お互いの魔法・トラップゾーンに存在するカードを全て破壊する」シン

「クソツ奈落の落とし穴が」万丈目

「これで。容赦なくいたぶれる。レベル一の綿毛トークン二体とレベル3ダンデライオンにレベル4のデブリドラゴンをチューニング」シン

「…………チューニング？」…………

「複数の小さき命の願い届く時戦いに終焉を打つため氷結界より現れる・シンクロ召喚・現れる氷結界の龍・トリシエーラ」シン

「何だその召喚方法は？」万丈目

「シンクロ召喚はチューナーモンスターとチューナーモンスター以外のモンスターを墓地に送り融合デッキから特殊召喚される新しい召喚方法だ」シン

「何だと？」万丈目

「その他にも別の召喚方法が存在するが貴様はこのターンで負ける・ダンデライオンが墓地に送られたため効果が発動するが氷結界の龍トリシエーラの効果でチェーンこのカードがシンクロ召喚に成功した時相手の墓地・フィールド・手札から一枚ずつゲームから除外する。俺はお前の墓地から天使の施しで捨てた軍神ガープを・フィールドからはヘルソルジャーを・手札からは右のカードを除外してもらう」シン

「くそ・ゴースが」万丈目

「さらにトリシエーラの効果処理が終わったためダンデライオンの効果で再び綿毛トークン二体を特殊召喚するさらに手札から二重召喚発動・これによりもう一度通常召喚が許される再びいでよデブリドラゴンが召喚に成功した時墓地から攻撃力500以下のモンスターを特殊召喚・いでよダンデライオン」シン

「またトリシエーラか？」万丈目

「違うな・これはMY Favoriteカードの召喚の布石・レベル3のダンデライオンとレベル1綿毛トークンにレベル4デブリドラゴンをチューニング・疾風の音が轟く時・救いの風が今姿を現す・

シンクロ召喚いでよスターダストドラゴン」シン
スターダストドラゴンは宙を旋回しながら星屑を落としていた
「スゲエ」十代

周りの観戦者はスターダストに見とれていた

「万丈目貴様の負けだ・トリシエーラのダイレクトアタック・瞬間
冷凍・ブリザード・フラッシュ」シン

トリシエーラのはく息が万丈目の体を覆いダメージを与える

「グワー」万丈目

「とどめだ・スターダストドラゴン・シューティングスター・ソニ
ック」シン

万丈目

LP

4000 - 2700 - 2500" - 1200

「くそっ・覚えている」万丈目取り巻きを連れて逃げる

「すっげーな俺とデュエルしようぜ」十代

「アニキ・もうすぐ寮の新生歓迎パーティーが始まるっすよ」翔

「それじゃ・また今度」シンは十代と翔と別れ三沢と一緒に寮に行

った

その後万丈目がストレス発散として十代を呼んでアンティードューエ
ルを行ったのは言うまでもない

恋の始まり(前書き)

ビッグアイ登場記念に

恋の始まり

揺れる心?? 明日香

「はあつまらん?」シン

初日の授業

一時間目はカードテキストについて答えることここまでは原作通りだからつまんなくもない

2時間目は伝説のバトルシティについて

問題はここで発生した

バトルシティ偏のことはよく見ていたからこそどつゆつぷつに解釈されているのが気になっていた

だがバトルシティの本来の目的や実際に起こったことはすべて隠蔽されていることに驚いた

授業の後海馬に電話したが

「この現代でオカルト紛いのことが信じられるか?」海馬

つと返されたので潔く引き下がるが自分で体験した真実をちゃんと
しるしておけと思いつつやはり怒りはおさまらなかった

千年アイテムに纏わる話で多くの人が死にかけたこと

開催した張本人のくせにそのへんを隠蔽したのが気に入らなかつた
ともあれ俺は怒りを感じていた

疑問に思ったクロノスは聞いても俺が答えないのでストレス解消と
して圧倒的ワンターンキルをデュエルで決めたらどうだと言った

クロノス

やっぱ優しいんだなあんだ

ただワンキルはえげつないぞ

ドグマブレードやカメラワンキルもあるし

なんやかんやで一日が終わり俺は十代と軽い雑談をしていた

何故か翔がいなかったが十代に聞くと

「それがわかんねえんだよ。翔の奴、朝っぱらからなんかにやけた
表情しててさ。」
つと言っていた

そついや今日って何かあったっけ？

そう思いつつ過ごしていたら

十代の携帯端末がなっていた

見ると

『丸藤翔は預かった。返して欲しければ女子寮まで来い。』

つと書いてあった

不吉な予感がして俺と十代は移動し

そこには天上院明日香とその取り巻きジュンコとももえがいた

とりあえず

あっちにぶがあることだと思い

「どうも・翔がご迷惑をかけてすみませんでした」シン

「そうやっぱり」明日香

「おい・なんで謝るんだシン」十代

「いや・その人が正しいこの変態が手紙で呼び出されたって言うてるのよ」ジュンコ

「翔・お前に祈りを捧げるアーメン」シン

「ヤメテエー・それ死亡フラグ」翔・泣きじゃくりながら

「………？ハア大丈夫よ翔君・君にチャンスをおげるから」明日香

「へ？」 翔&十代

「械シンあなたと決闘してもらおうわ。」 明日香

（ってそうか今日は女子寮での決闘・なら今回は………ん？）

制服のポケットから

械シン様へ

突然ですいません？

あなたの世界でヴァリアブルブックが発売になりました

これは初心者天使が付録のナンバーズ11 ナンバーズ16のカードで作ったデッキです

これを使い楽しんでください

P.S.

重要な出来事ならすいません

神より

（とりあえずこれでやるか）

「準備は出来たようね」明日香

「ああ」シン

「決闘」

「俺の先行・ドロー俺は手札から終末の騎士を召喚・効果によりデッキから闇属性モンスターを一枚墓地に送る・俺はレベルステイラーを墓地にさらに手札から天使の施しで三枚引いて二枚捨てリバースカードを二枚セットしてターンエンド」シン

「私のターン・手札からマジックカード融合発動・サイバーブレイダーを融合召喚さらに手札からマジックカード発動アームズホール通常召喚の権利を破棄しデッキから装備魔法を手札に加える私は巨大化を手札に加える」明日香

(ワンキルを狙っているな)シン

「私は天使の施しで三枚引いて二枚捨てる・さらに命懸けの駆け引き(オリカ)このカードは自分が相手にバトルフェイズで戦闘・直接攻撃で与えるダメージを宣言し千ポイント支払いカードを二枚ドロウするただし宣言したポイント分ダメージを与えられない場合相手はカードを三枚ドロウする・私が宣言するのは三千」明日香

「ヤバイツスよヤバイツスよ」翔

「私は武装転生を二枚発動墓地にある巨大化とデーモンの斧をサイバーブレイダーに装備・サイバーブレイダーで攻撃・グリッサード・スラッシュ」明日香

「トランプ発動・ハーフダメージこのカードの効果は自分フィールドのモンスター一体の攻撃力を0にするかわり発生する戦闘ダメージを一度だけ半分にする」シン

LP4000 - (5200 - 2600) = 1400

「速効魔法非常食・私は装備魔法一枚をコストにライフポイントを二千回復する」明日香

「それと命懸けの駆け引きに三千のダメージだ」シン

LP5000 - 3000 = 2000

「カードを二枚セットしてターンエンドよ」明日香

(この手札ヤバいなハリケーンしかまともなカードがない)

「俺のターンドロウ俺は強欲な壺を発動デッキからカードを二枚ドロウする」シン

(手札にきたのはガガマジシャンと黙する死者・いくら初心者天使が作ったデッキとしてもこれはひどいこの状況で逆転勝ちするには……………そうかこうすれば)

「どうした？怖じけづいた？」ジュンコ

「フツ勝った・俺はマジックカードハリケーンと黙する死者発動・ハリケーンの効果により互いのリバースカードを手札に戻し黙する死者の効果で天使の施して墓地に送ったレッドアイズブラックドラゴン等特殊召喚・さらにガガマジシャンを召喚」シン

「そんな・・・」

「でもそんなので明日香さんのサイバーブリーダーは倒せないわよ」
ももえ

「べつに倒さなくていいんだ」シン

「え？」明日香

「見せてやろう融合や儀式召喚を越えた召喚エクシース召喚を」シン

「『『『『『エクシース召喚？？？』』』』』」

「何なのよそれ？」ジユンコ

「今に分かる・俺はガガマジシヤンの効果発動・ガガマジシヤンはレベルを1〜8まで宣言したレベルに変更出来る・俺はレベル7を宣言・これで準備はできた・俺はレベル7となったガガマジシヤンとレベル7のレッドアイズブラックドラゴンをオーバーレイシン

「すっげー何が始まるんだ？ワクワクするぜ」十代

「二体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築エクシース召喚・現れよNo.11・ビッグアイ」シン

「それがどうしたの未知なる召喚であろうともサイバーブリーダーは効果で戦闘では破壊されない」明日香

「そうかじゃあどうすんだシン」十代

「大丈夫だ問題ない・初めて見せた召喚だからエクシースモンスター

ーの特徴を教えてやる・エクシーズモンスターは同じレベルのモンスターを使い召喚されるエクシーズモンスターの召喚に使った素材はエクシーズモンスターの下に重なる形で出現し・エクシーズモンスターは召喚に使った素材を墓地に送り効果が発動する・レベルとゆう概念はなく・ランクとして扱われる・さてと説明はこの辺にしてデュエルに幕を下ろすかNo.11・ビッグアイの効果発動・」
シン

「……何ですって？」明日香

サイバーブレードのコントロール権がシンに

「ビッグアイの効果・それはエクシーズ素材を一枚墓地に送りこのカードの攻撃権利を破棄することで相手モンスターのコントロールを得る」シン

「なんですって」明日香

「すげえ」十代

「とどめだ・サイバーブレードでダイレクトアタックグリッサード・スラッシュ」シン

「なによエクシーズ召喚ってゆうインチキカード使って」ジュンコ

「????俺を拾ってくれたペガサスを馬鹿にするな」シン

「……は？」ももえ

「ちょっと待ってあなたはもしかして」明日香

「さすが天上院明日香予想通りだ俺はインダストリアルリユージョンの会長ペガサス」クロフォードが集めた孤児・ペガサスミニオンだ」シン

「ペガサスミニオンって何？」 翔&十代

「簡単に言えばデュエルモンスターの生みの親ペガサスの養子だおれは七歳の時からペガサスに尽力した・シンクロ召喚・エクシーズ召喚はその過程で生まれた・そして海馬コーポレーションの協力のもとこのデュエルアカデミアで実験することになったのがシンクロ召喚・エクシーズ召喚だ」シン

「そうだったの？」 明日香

「ああ・今日は夜が遅いまた後日質問があったら話そう」シン

「じゃ・帰るぞ翔」十代

十代と翔はレッド寮に向かい船を走らせた

「んじゃ帰るか」シン

その時俺は明日香が憐れんだ目で俺を見たのを俺は気がついた

なんだこの胸が苦しいが嫌じゃないこの感じは

まさか・・・これが恋なのか？

俺は胸の苦しみのあまり寝れず次の日は授業を大爆睡してしまい説
教をくらってしまった

試験前日・デッキリ強化(前書き)

今回はデュエルなしです

試験前日・デッキ強化

試験の前日

俺は三沢と一緒に極秘ルームに来ていた

理由は簡単

デッキ強化のためだ

ただエレベーターに乗ろうとしたところ

不幸中の不幸か

明日香はともかく十代と翔に鉢合わせになった

仕方なく

俺達は極秘ルームとは建前の

インダストリアルイリユージョン社の俺の所有カード室に来ていた

「すっげー」十代

「これ……全部シンが所有するカードなのか？」三沢

「ああ」シン

ちなみにイメージしてもらおうには王立魔法図書館の狭まったのをイメージしてください

「スゴイッス」つと翔が誰が見てもまる見えにカードをポケットにいれていた

「クロケッツ！カードが盗まれている・警備員達を呼んでくれ」シン

「ヤメテエー！！」翔

「何人の大切なカードを盗もうとしているの？せつかくだからあげようとしたのを君が俺の宝を盗もうつとするなら君はバトルシテイのグールズ並のクズだなそれに」シン

「シン・ゴメン」十代

「十代が謝ることじゃないさ……仕方がない……君らのデッキに合うカードをあげよう……それと翔」シン

「はい！」翔

「今度から盗むなよ……今度は退学騒ぎになるくらいやるからシン・握りこぶしを見せながら」

「はいい〜？」翔

とつまあ十代達のデッキはいかのとおり

十代

超融合を除いた属性HEROデッキ

翔

漫画版のロイドを合わせた火力重機ロイドデッキ

三沢

水属性デッキに恐竜カードを加えたもの

明日香

サイバーエンジェルプラスオリカ

プルルルル・プルルルル・プルルルル

「何だ？」シン

.....

「十代・用事が出来た・今日はここまでにして寮に戻ってくれ」シン

「マジで用事なら仕方ないな行くぞ翔」十代

「了解ッス・アニキ」翔

「それじゃあまた明日」明日香

「寮に先に戻ってるぞ」三沢

「ああ」シン

数10分後

定期船来航の灯台

「待たせたな・・・そして久しぶりだな・・・カイザー・いや丸
藤亮！」シン

「お久しぶりです」

試験前日・デッキ強化（後書き）

次回予告

明かされるサイバー流伝承の過去

両親が死んでからのシンはまるでクラッシュタウン編に出て来た当初の鬼柳のような目をしていた

- 丸藤亮（当時八歳）は独自のサイバーデッキでシンに立ち向かうが・
- ・

サイバー流対未サイバー流（前書き）

遅れてすみません？

サイバー流対未サイバー流

「明日……クロノス先生に頼んで指名して試験相手になってもらってもいいですか？」カイザー

「……構わない・それと敬語はやめてくれ・もう俺はお前の兄弟子じゃない」シン

「分かった……それにしても明日・遂に本気のあなたとデュエル出来るんですね」カイザー

「ああ」シン

(思えば……この世界の父さんと母さんが死んだ時に始まった)

「あの時の俺は生気を持たずただひらすらにデュエルしていた

「サイバードラゴンで直撃」シン

「リミッター解除により攻撃力が二倍になったサイバードラゴン三
体で攻撃」シン

「ぐわっ」「くそっ」相手

俺は両親が目標だった・開闢・終焉ビートダウンデッキをもってしても勝てなかったそして俺は強くなり両親と肩を並べるいや越えるためにサイバー流を伝承することにした

とうとうマスター鮫島に認められサイバーエンドドラゴンを継承したその日

飛行機事故に巻き込まれ両親は死亡」シン

後で神にきいたことだが生活に支障がないよう精神年齢も0からスタートだったとゆう

「俺は不満足のなかでお前に会ったんだっけ」シン

「はい・そしてあのデュエルが始まったんです」亮
回想

「よろしくお願いいたします」亮

「いいから来い！」シン

「デュエル」「亮&シン

「先行をもらいますドロー・俺は天使の施しで三枚ひいて二枚捨てる・さらにマジックカード苦渋の選択を発動・俺はビッグバイパー三枚と・Xヘッドキャノン二枚を選択を選択」亮

「俺はXヘッドキャノンを選択」シン

「Xヘッドキャノンを手札に加えてそれ以外を墓地に送ります・さらに手札抹殺を発動・お互いは手札をすべて捨てて・その枚数分カードをドローしますそしてサイバーフェニックスを召喚・カードを三枚伏せターンエンド」亮

「俺のターン・俺は手札からサイバーサポートファクトリーを発動・

このカードは互いに機械族モンスターを任意の枚数除外しその枚数・かける四つのターンカウンターを乗せ・互いのエンドフェイズにターンカウンターを一つ取り除く・ターンカウンターが0になった時・この効果で除外したモンスターを手札に加える・ただしサイバーと名の付いたモンスターを除外する場合モンスターの数かける二つのターンカウンターを減らすことが出来る・俺はサイバードラゴン三体和プロトサイバードラゴンを除外」シン

「俺もサイバードラゴン三体和プロトサイバードラゴンを除外」亮

「俺はリミッタータイムナンバー4を召喚・このカードが破壊されたときライフを半分にしてターンカウンターを0にするちなみに戦闘で破壊された場合・リミッタータイムナンバー0〜3をデッキから召喚する」シン

「だが・・・このターンでサイバーエンドドラゴンを召喚する方法がある」亮

「そうだ・俺は瞬間爆発発動このカードは自分のモンスター・一体を破壊してあいてモンスター・一体を破壊する俺の場にはリミッタータイムが・お前の場にはサイバーフェニックスがだがこのままでは・お前の場にもサイバードラゴンが召喚されるチェーン発動異次元からの埋葬」シン

「異次元からの埋葬?!?!」亮

「このカードの効果で・除外されている三枚のカードを墓地に送る・俺はお前の除外されているサイバードラゴン三枚を墓地にチェーン発動により瞬間爆発は異次元からの埋葬の次に効果が発動するサイ

バーフェニックスとリミッタータイムナンバー4を破壊」シン

「これによりサイバードラゴン三体とプロトサイバードラゴン一体がフィールドに……。だが俺の場にもプロトサイバードラゴンが召喚されるそして俺はリバーズカード発動・不意打ちリサイクル・このカードは相手が・攻撃力二千以上のモンスター三体以上特殊召喚したとき・墓地のマジックカードを発動できる・俺は苦渋の選択を発動……。俺は王室前のガーディアン二枚・三体とプロトサイバードラゴン二体を選択」亮

「俺はプロトサイバードラゴンを選択する・手札に加えたあと・俺は融合を発動……。三体のサイバードラゴンを融合してサイバードラゴン・バトル・エターナルエボリューション・バースト」シン

「俺は霧がくれを発動・霧がくれはこのターン俺のダメージを0にする・」亮

「くそっ」シン

(だがなんだこのこみあげる感情は……。俺は喜びを感じている?????)

「サイバーフェニックスが戦闘破壊されたためカードを一枚ドロ・」亮

「二枚伏せてターンエンドだ」シン

「俺のターン……。俺は手札から強欲なつばを発動・二枚ドロそして魔法石の採掘で手札二枚と引き換えに墓地から苦渋の選択を手

札に・そして苦渋の選択を発動・俺はサイバラーバア三体とサイバードラゴンツバアイ二枚を選択」亮

「なら俺はサイバードラゴンツバアイを選択」シン

「サイバードラゴンツバアイを手札に・・・フウ・・・やっと準備が整った」亮

「何?????」シン

「おれはサイバードラゴンツバアイを召喚して・手札のサイバールタニアンの効果発動・このカードは光属性・機械族モンスターをフィールドと墓地からすべて除外しこのカードを特殊召喚する・おれはサイバードラゴン三枚とサイバラーバア・三枚・サイバードラゴンツバアイ三枚・Xヘッドキャノン三枚・ビッグバイパー三枚・王室前のガーディアン三枚・プロトサイバードラゴン三枚を除外しサイバールタニアンを特殊召喚」亮

「トラップ発動・メカ・コーティング・このカードの効果でフィールド上に存在する機械族は戦闘以外でフィールドから離れることはない」シン

「だがサイバールタニアンの攻撃力は除外したモンスターかける五百・除外した枚数は21枚よって攻撃力は一万五百さらにリミッター解除により攻撃力を二倍にして攻撃・ドラゴニス・エボリューション・シュート」亮
シンLPO

「あ~~~~何だろ・・・俺は不満だ・・・悔しくて泣きたいぐらいい・・・」シン

回想

「その後あなたはサイバー流を体得したあとあなたはインダストリアルイリリュージョン社のペガサス会長の養子となった」亮

「ああ……あのあと俺は強くなったはずだ……しかし不満足のままだ……だからこそ明日のデュエル……リベンジさせてもらう……お互いのプライドを賭けて」シン

「ええ」亮

二人の目には炎がたぎっていた

サイバー流対未サイバー流（後書き）

もしかしたらライダー小説のために更新が遅れるかも知れませんが
楽しみにしている方々にお詫びを申し上げます？

プライドを賭けたりベンジ（前書き）

週間アクセス155ありがとうございます

これからも頑張って書きます

読んでくれる方々本当にありがとうございます???

プライドを賭けたリベンジ

十代は原作通り遅刻・・・クロノスがパックを買い上げ万上目にわたしていたがもの見事に十代にワンキルを成功させていた

手順は

大嵐

未来融合

エリクシーラーを選択

融合

ネクロダークとオーシャンを素材にエスクリダオを召喚

ネクロダークの効果でエツジマン召喚

エツジマンでVWを破壊

エスクリダオでダイレクト

融合解除

ネクロダークとオーシャンでとどめ

当然万上目とクロノスは意気消沈

そしていよいよ俺の番がきた

十代側

「なあカイザーとシンどっちが勝つと思う？」十代

「さあ？」翔

「今までの傾向だとまったく同じ戦法のサイバードラゴンデッキ・
・お互い最終的にたどりつくのは」明日香

「・・・サイバーエンドドラゴンか・・・確かに天上目君が言う
ようにどちらかが・タイミングを計り・グッドタイミングでサイバ
ーエンドドラゴンを召喚するにかかっているな」三沢

「おっ始まるぞ」十代

「では丸藤亮対シンデュエル初め」試験官

「デュエル」「シン&亮

「先行は貰う俺のターン・俺はモンスターをセット・カードを二枚
セットしてターンエンド」シン

「俺のターン・・・プロトサイバードラゴンを召喚して手札から融合
を発動・手札のサイバードラゴンとフィールドのプロトサイバード
ラゴンを融合・現れる・サイバーツインドラゴン・サイバーツイン
ドラゴンで攻撃・ツインエボリューションバースト・第一打〜」
カイザー

「セットモンスターはシャインエンジェル・戦闘で破壊されたため・
デッキから光属性モンスターを特殊召喚・いでよプロトサイバード
ラゴン・さらに地獄の暴走召喚発動このカードの効果は攻撃力千五
百以下のモンスターを特殊召喚した時互いはモンスターを選択しデ
ッキ・手札・墓地から同名モンスターを特殊召喚する・プロトサイ

バードラゴンは効果でサイバードラゴンとなるためサイバードラゴン三体を特殊召喚する」シン

「く・サイバーツインは融合モンスター・効果の対象外・ならサイバーツインでプロトサイバーを攻撃」カイザー

「甘い・リバースカードドレインシールド発動・攻撃を一回無効にして無効にしたモンスターの攻撃力分ライフを回復する」シン
LP4000+2800=6800

「く・カードを二枚伏せてターンエンド」カイザー

「俺のターン・俺は手札から・ハリケーン発動・互いの魔法トラップゾーンにあるカードをすべて手札に戻す」シン

「く」カイザー

「さらに手札から・サイバードラゴンツバアイを召喚・効果により魔法カードを見せることによってこのカードの名前はサイバードラゴンとなる俺が見せるのは融合・」シン

「何？」カイザー

「このまま決まればカイザーの負けだ」三沢

「お兄さん」翔

「融合発動・サイバードラゴンとなったプロトサイバードラゴンとサイバードラゴンツバアイとサイバードラゴンを融合・現れる・サイバーエンドドラゴン・・そして攻撃・エターナル・エボリューション・バースト」シン

サイバーツインドラゴン撃破

4000 - 1200 = 2800

「さらにサイバードラゴン二体でダイレクトアタック」シン

「甘い・手札のマシン・ダメージ・ガードナーを捨て・効果発動・このターン機械族が破壊されていた場合・ダイレクトアタックによるダメージを0にする」カイザー

「フン・そうこなくては天よりの宝札で互いはカードを6枚になるようカードをドロウするカードを二枚ふせて・永続魔法禁止令・このカードは俺が宣言したカードを使用することを不可能にする・俺はパワーボンドを宣言・ターンエンドだ」シン

「カイザーの決まり手のパワーボンドが封じられた」三沢

「さらにはあのリバーカードはおそらく」翔

「リミッター解除」明日香

「俺のターン・手札から死者転生を発動・手札を一枚すて墓地にあるモンスターを手札に加える・俺はサイバードラゴンを手札に融合発動・手札のサイバードラゴン三枚を融合し・現れるサイバーエンドドラゴン・さらに・リミッター解除・これにより機械族モンスターの攻撃力を倍にするさらに死者蘇生・現れるマジックキャンセラ・これにより互いはマジックカードを使えない・リミッター解除を使えない今がチャンス・行けサイバー・エンド・ドラゴン・エボリューションバースト」カイザー

「あのゴミの負けか・・・」万上目

「勝った・俺はオネストの効果発動」シン

「何？オネストだと」カイザー

「そつだ・このカードは光属性モンスターが戦闘を行う時手札から捨てて発動する・戦闘する相手モンスターの攻撃力を自分の戦闘するモンスターに加える・サイバーエンドドラゴンの攻撃力八千を・俺のサイバーエンドドラゴンに加える・返り討ちだカウンター・エポリューションバースト」シン

「く」カイザー

LP2800 - 12000〃 - 9200

「バツバカナ・カイザーが負けた」万上目

「嘘だろ」とりまき

「お兄さんが負けた」翔

「よっしや~~~~・・・リベンジ果たしたぜ・亮」シン

「やはり・本気のあなたは強いな」亮

「満足だぜ・亮」シン

「え〜シン君・君は見事にリベンジを果たし・なおかつ素晴らしいデュエル見せてくれましたそして定期テスト・高得点により・君をオベリスク・ブルーの昇格を許可します」鮫島

「ようこそ・オベリスクブルーに」亮

「ああ」シン

亮に握手する

そんななかインダストリアルイリユージョン社では

極秘カードが盗まれていた

「どこだ〜」警備員

「あれを外に持ち出すな・・・SINカードを」警備員ビ

プライドを賭けたリベンジ（後書き）

オリジナルSINカードと盗んだ人はセブンスターズ編に出てきます

今度の話はデュエルなしでタイタンが出てきます

それと一部とばすかもしれないのでご了承ください

あわれタイタン・クロノスの年貢おさめ（前書き）

密林さんに指摘され名前を最初の文字だけ表示することにしました

密林さんこれでいかがでしょうか？

さらには作者の知識不足に土下座します？

これからはネットなどで質問したり・調べたりして正しく書いていこうと思います

それでも違う場合は指摘してください

ではよろしくお願いいたします

あわれタイタン・クロノスの年貢おさめ

数日後

俺とカイザーは十代に誘われ怪談をしていた

「とある工場では・・あまりにも酷い扱いを受けた機械が感情を持ち一人また一人と人を機械のなかに入れるらしい」シ

「怖いっす」翔

つとこんな感じで怪談をしていると大徳寺先生がやって来て廃寮の話をした

よし・タイタンにはかわいそうだけど・クロノスも巻き込んでやる翌日

俺は海馬コーポレーションに嘘（実際今日起こるから嘘じゃないけど）クロノスが不審者をやとい廃寮に生徒を襲おうとしていることを連絡

そして夜

十代に誘われ散歩するとゆう名目のもと廃寮前にくると

「なぜだ〜」タ

「大人しくしろ不審者・あつシン様」海馬コーポレーション警備員

「おゝやはり不審者がいたか・・・」シ

「やはりつて??」翔

「ああクロノスが十代を腹いせに退学までもちこもつとして不審者を雇ったんだ」シ

「そこまでするんすか??たかがデュエルに負けたからつて」翔

「正々堂々やってくればいいのに」十

「十代言つておく・・・人にはプライドを踏み潰されたら人は何でもすると」シ

「分かった」十

次の日

クロノスが担当する授業は自習

俺は海馬コーポレーションに依頼していた・翔ののぞき見事件の筆跡・タイタンとの取引のビデオを見せ

クロノスは減給

タイタンはクロノスの暴走で雇われたため

二度としないことを誓い

そしてデュエルの知識・錬金術の知識・その他もろもろの知識もあ
ったため

予備の教師としてアカデミア役員として静かに働いてそしてたまた
この学園に教えることになったとさ

恋する乙女はシャークさんの前では無意味なのです（前書き）

今回はレイ編です

神楽坂の話は次の話になります

恋する乙女はシャークさんの前では無意味なのです

冬休みも過ごし・・・正式にタイタンはデュエルアカデミア教師に
タイタンは生徒から人気で基本デッキから勝てるマニアックデッキ
などを作り方を教え

月一試験で高得点をだした生徒にはレアカードを渡すとゆう方針だ
しかしタイタンいいのか???

一枚ん十万円のカードをだして

話を聞くと海馬に頼み試しにやっているらしい

実際成績最下位の連中が成績をあげてきて成功

海馬は気をよくしてタイタンの給料を上げた

対するクロノスは

ローンがあるためか減給はかなり響き

内職までしているとか

つとすると風の噂でレッドに転校生が来たと言った

まあ関係ないが

しかし俺も普通の学校生活を送る訳にいかず

そろそろエクシーズ召喚とシンクロ召喚の中間報告の期限が迫っていた

そのため日々翔と十代・隼人に頼みこみデュエルを行う日々だ

そろそろ実験台のカードをかなり使って報告書も順調

あとはゼアルでカイトにボコボコにされたあの人のデッキか

(シャークファンの皆様別に軽蔑の意味じゃないです・作者はシャークさん好きです)

っとカイザーと雑談しながら報告書を書いていると

レッド寮の生徒??が部屋に入ってきた

「カイザー〜〜」レ

「誰だ〜〜・おい・亮・お前の知り合いか?」シ

「いや知らん」カ

「おーいレ〜イ・ここにいたか」十

「っち」レ

レイ・走って逃げる

「おい・クロケッツ不審者だ・学園の監視カメラを使って追え」シ

「ラジャー」クローケ

数分後

海岸にいるところを見つかり

海風で帽子が飛ばされレイが女と発覚！

「僕とデュエルだ・そうしたらこのことを秘密にしてもらおう」レ

「（結局このあと警備員に捕まるけど）・・・まあいつか・・・そのデュエル受けてたっ」シ

「デュエル」「シン&レイ

「僕のターン・恋する乙女を召喚して・カードを二枚セットしてターンエンド」レ

「俺のターン・俺は天使の施し発動・三枚引いて二枚捨てる・さらに死者蘇生・現れる・超古深海王シーラーカンス」シ

「いきなり上級モンスター（だけど伏せカードで私に被害は0のはず）」レ

「シーラーカンスの効果発動・手札を一枚捨ててデッキからレベル4以下の・魚族を可能な限り召喚する・ただし効果は使用できず・攻撃宣言することもできない俺はビッグ・ジョーズ二体とフライフアング二体を召喚・・・」シ

「それで何するつもり・・・魚族なんて雑魚を並べて」レ

「なら見せてやるよお前のゆう雑魚の底力を・手札からハリケーン発動・互いの魔法・トラップゾーンに存在するカードを手札に戻す」
シ

「えっ・・・きゃっ」レ

「さらにビッグジョーズ二体でオーバーレイユニットを構築・エクシーズ召喚・現れるブラック・レイ・ランサー」シ

「何この召喚方法？」レ

「迷惑をかける・馬鹿な奴に説明する気も起きんな・さらにフライアング二体でオーバーレイユニットを構築・エクシーズ召喚・現れる・No.17・リバイス・ドラゴン・・・おっと・俺はまだ通常召喚を行っていない・・・このことがどんなことか・分かるか??」シ

「ささあ？」レ

「俺はキラーループ力を召喚・さらに魚族モンスターが召喚されたため手札よりシャーク・サツカーを特殊召喚・二体のモンスターでオーバーレイユニットを構築・エクシーズ召喚・現れる潜空母艦工アロ・シャーク」シ

「あわわわわわわ」レ

「ブラックレイランサーの効果発動・エクシーズ素材を一つ取り除き・相手モンスターを選択して選択したモンスターの効果を無効にする・さらにリバイスドラゴンの効果発動・エクシーズ素材を一つ取り除き・攻撃力を五百アップ・終わりだ・ブラックレイランサー

で攻撃・ブラック・スピア」シ

「きゃ〜」レ

「エアロシャークの攻撃・ビッグイーター・そしてとどめだ・リバイスドラゴンの攻撃・リバイス・ストリーム」シ

LP

「さてと・・・あとはあいつらに任せるか・・・クロケッツ・あとは頼む」シ

「了解・しました・シン様・あと」クロケ

「何だ？」シ

「明後日より急にペガサス様が海馬コーポレーション主催のデュエル大会の見学のため・急ぎよ・レポートの提出を明日までにしてほしいのですが」クロケ

「・・・・・・ツハ~~~~~?」シ

「ではよろしくお願いいたします」クロケ

「お・おいクロケッツ・クロケッツ?」シ

俺はそのたむ中間報告のレポートを徹夜でするはめとなり

当然・授業は寝てて怒られたとさ

神楽坂・忍者をなめたらあかんですよ(前書き)

今回は意外な人が登場します

神楽坂・忍者をなめたらあかんですよ

予定より少し遅れたが・・・武藤遊戯のデッキ展示が明日始まる・理由は簡単だ・・・カイザーにリベンジを果たした日にインダストリアルイリキュージョン社の極秘カードが嚴重な警備のなか盗まれたからだ

そのことは不安だが別に俺は遊戯さんのデッキをまるごと持つているため見る必要はないが・・・だが神楽坂の件も今日のはず・・・

いくら自分のデッキで勝てないとはいえデッキを盗むのは犯罪行為・待ち伏せするか

夜

俺は海岸付近で神楽坂を待ち伏せしていた
が・・・先に人がいて俺はその人を知っていたため遠くから覗いていた

「クツクツク・・・ようやく俺は最強のデッキを手に入れた」神

「そいつはどうかかな？」忍者の格好をした男

「貴様は誰だ・・・まあいい・・・デュエルだ」神

「了承したでゴザル・・・勝ったら盗んだデッキをもとに戻すでゴザル」？

「なぜ……なぜこれを盗んだものとまあいい」神

「「デュエル」」神&？

「俺の先行ドロ・苦渋の選択を発動・デッキから5枚数のカードを選択して・相手に一枚選ばせ・選ばれたカードは手札に・選ばれなかったカードは墓地におくる・俺はマグネットウォリアーの（アルファ）・（ベータ）・（ガンマ）・マジシャン・オブ・ブラックカオス・ブラック・マジシャンを選択」神

「拙者はマジシャン・オブ・ブラック・カオスを選択」シ

「マジシャン・オブ・ブラック・カオスを手札に加える・死者転生発動・加えたマジシャン・オブ・ブラック・カオスをコストにマグネットウォリアーを手札に加える・さらに手札から闇の量産工場を発動・墓地の通常モンスターを手札に戻す・俺はマグネットウォリアーとマグネットウォリアーを手札に加える・さらに手札の・をいけにえにマグネットバルキリオンを召喚さらに・バルキリオンの効果で・墓地の・のマグネットウォリアーをこのカードをいけにえに三体とも守備表示で特殊召喚・死者蘇生発動・墓地に送ったバルキリオンを蘇生し・天よりの宝札・互いは手札を6枚になるようカードを引き・カードを一枚セットしてターンエンド」神

「拙者のターン・ドロ・このターンで終わりじゃ・手札の機甲忍者アースを特殊召喚・このカードはカイザーとやら持っているサイバードラゴンと同じ効果じゃ・さらに・機甲忍者フレイムを召喚しフレイムの効果発動・このカードの召喚に成功した時レベルを一つ

上げる・拙者はフレイム自身のレベルを上げ・レベルを5にする「シ

「レベルを同じにしてなんの価値が」神

「なら見せてやろう・レベル5の二体のモンスターでオーバーレイユニットを構築・エクシーズ召喚・参上せよ・No.12・機甲忍者クリムゾン・シャドー」シ

「エクシーズ召喚だと・・・馬鹿なそれは・シンしか持っていないはず・・・」神

「悪いがの拙者はインダストリアルイリユージョン社の警備員・じや・この機甲忍者シリーズはペガサスが拙者のために作り上げたものじゃ・ペガサスはもうすぐエクシーズ召喚を世にだすため拙者に託したのじゃ・じゃが拙者のターンはまだ終わっていない・機甲忍法・サモン・コール・このカードはフィールドに機甲忍者が存在するとき・デッキから機甲忍者二体を効果と攻撃宣言をなくして特殊召喚・見参せよ・機甲忍者アクア・機甲忍者・エアァー・さらに・アクアとエアァーでオーバーレイユニットを構築・見参せよ・機甲忍者・ブレード・ハート・さらにサイクロンでリバースカードを破壊・さらに・機甲忍法・チェンジバースト・風属性の機甲忍者と名の付いたモンスターがいるとき相手モンスターの表示形式をすべて変更する・さらに装備魔法・ブレイク・鎖がまをクリムゾン・シャドーに装備・ゆけクリムゾン・シャドー・破壊の鎖がま・ブレイクチェェーン・ブレイク鎖がまの効果発動・装備モンスターが攻撃するとき相手のカード一枚破壊する

マグネットウォリアー 撃破」

LP

「くそ」神

「ブレードハートの効果発動エクシーズ素材を一つ取り除き・忍者と名の付いたモンスターにもう一回攻撃する権利を与える」？

「ナツニー？・それじゃあ」神

「ゆけい・クリムゾンシャドー・さらに鎖がまの効果を使い・を破壊し・に攻撃・さらにブレードハートでとどめじゃ〜」？

「クリボーをドロー出来ていなかったか・・・これが遊戯さんのゆうデッキの信頼してない結果か・・・」シ

「ではデッキは返してもらおうぞ」？・少し歩いて

「あいつ・・・立ち直れますかね・・・」

「さあな・・・今回は護衛ついでにやったが・・・あいつはいつか立ち直れるぞ」

「そうですね・・・それにしても・・・もう開発されたんですね・・・忍者モンスター・・・リッチーさん」シ

「ああ・・・それにしてもこれは辛かったぜ・・・時代劇にはまってプロとはいえ変装するはめになったんだからな」リ

「本当にお疲れ様でした」シ・衣装とデッキを受けとって

「ああ……それとインダストリアルイリユージョン社に妙な手紙が届いた……」リ

「妙な手紙？」シ

「ああ……進化をうみし者を罪深い力で葬り去ると……としか書いてねえ」リ

「何でしょうね」シ

そんななか

理事長室

「つで例のカードは」影丸

「こちらに……他のカードと組み合わせれば使いものになると……」？

「フムフム……ならば実験としてシンを狙うのだ」？

「は……」？

神楽坂・忍者をなめたらあかんですよ（後書き）

次回予告

休学をして幼い頃暮らした家に戻ったシン

そこに影丸の部下が封印されたカードを使い襲い掛かる

次回

脅威のSINNモンスター前編

脅威なるSINNモンスター（前書き）

オリジナルSINN登場です

作者はパラドックスファンです

脅威なるSINモンスター

「えっ休学??」シ

「ああ・・貴様の協力で・シンクロ召喚・エクシーズ召喚は秋から始動することが決まってるな・・・貴様も俺やペガサスの急な用事に振り回され肩がこってるだろう??ペガサスに提案して・・しばらく休みを与えることにした」海馬

「はあ」シ

「旅行したければ・場所を言え・・移動費用と旅館の費用はこちらから出す」海

「なら・・・実家に帰っていいですか??」シ

「たった一人の妹が心配か・・まあその気持ちは分かる・・俺にもモクバがいるからな・・明日・迎えのヘリコプターを向かわせる」海

「では失礼します・・」シ

数分後

「ツエー??休暇?」十

「ああ・・しばらく休み無かったからな・・」シ

「でもいいな・・」十

「仕方ないノーネ・シニョールシンは・仕事を兼用しながら学年一位を保ってるノーネ・・今回の休暇は当然ナノーネ」クロ

「だから・明日から十日間・・学園を留守にするな」シ

「でも実家って家族いないって言ってなかったすか??」翔

「翔!!」三&十

「血の繋がった・・妹がいるんだ・・今は親戚に引き取られて
いるけど」シ

「すみませんツス」翔

「いや・・いいんだ・・言わなかった俺も悪いし・・」シ

その後十代達は察してか・・家族に関して話さなかった

転生前の家族は俺をかばい交通事故で死んだ

だから・・だからこそ・・転生した時・・一緒にいた家族も・
・生きていてほしかった・・

翌日

「久しぶりだな・・童実野町」シ「シン様」高見澤

「何だ?」シ

「頼まれたとおりハウスキーパーにより・掃除などは完了してお

ります・・・」高

「了解・・・この時間レナは学校か・・・それにしても・・・新しいデッキを組んどくか・・・」シ

「おい・・・その兄さん・・・デュエルしないかい？」黒フー
ドの男

「いいだろう」シ

「しかしシン様・・・」高

「デッキの試運転だ・・・」シ

「了解いたしました」高

「では」黒フー
ド

「デュエル!!」シ

「俺の先行・・・リバースモンスターにリバースカードを二枚セツトしてターンエンド」シ

「私のターン・・・私はフィールド魔法・SINワールドを発動」黒
「SINワールド・・・だと」シ

海馬コーポレーション

「海馬様・・・でました・・・盗まれたSINカードの一枚を確認」

「・デュエルを警備員が来た時点で強制終了する・システムをセツトしておけ・・・あれは禁断のあまり・インダストリアルイリキュジョン社で封印されたカードだ」海

「駄目です・・・デュエルディスクが反応しません・・・二人のディスクはウイルスが仕掛けてあります」スタッフ

「ならウイルスを解除するワクチンを迅速に作れ・・・」海

「了解」スタッフ

(なんとか持ちこたえている)

「SINワールドがあり初めて召喚出来るモンスターが存在する・・・デッキにある・・・レッドアイズブラックドラゴンを墓地に送り・現れよ・SINレッドアイズブラックドラゴン」黒

「いきなりか」シ

「さらに・SINレッドアイズブラックドラゴンはレッドアイズブラックドラゴンとして扱うため・マジック発動・黒炎弾」黒

「そうは・させん・ハネワタの効果・このカードを墓地に送り・効果ダメージを一度だけ0にする(原作のSINモンスターとは違う)」シ

「ならば・手札より・SINフュージョンを発動・このカードはSINモンスターとの融合に必須カード・手札のSIN・デーモンと・

場のS I N・レッドアイズブラックドラゴンを融合・現れる・S I Nブラックデーモンズドラゴン」黒

（新たなS I Nサポートカードだと？これが俺とゆう存在が引き起こした・イレギュラーカードなのか？）シ

「S I N・ブラックデーモンズドラゴンの効果・このカードは貫通能力と・破壊した相手モンスターの攻撃力分のダメージを与える・行け・S I Nブラックデーモン・罪の波動・S I N・デーモンズ・バースト」黒

「トラップ発動・和睦の死者」シ

「つち・ならば・手札から・S I N・バーストを発動・フィールドのS I Nモンスターを除外して・その攻撃力分のダメージを相手のスタンバイフェイズに与える・私はS I Nブラックデーモンズドラゴンを除外し・カードを二枚セットしてターンエンド」黒

「俺のターン」シ

「スタンバイフェイズになったため・S I Nブラックデーモンズドラゴンの攻撃力三千二百のダメージを受けてもらう」黒

LP4000 - 3200 = 800

「ぐわっダメージが現実にだと？」シ

「言い忘れていたがこれは闇のゲームだ・・・それを肝に命じておけ」黒

「これが・・・これが闇のゲーム」シ

脅威なるSINモンスター（前書き）

SIN使いの正体とは???

脅威なるS I Nモンスター

「俺のターン・ドロウ・・・一気に攻める・手札より融合発動・手札のサイバードラゴン三体を融合して・現れる・サイバーエンドドラゴン」シ

「ほう」黒

「いけ・サイバーエンドドラゴン・エターナルエボリューションバースト」シ

(通れ・・・)

サイバーエンドドラゴンの攻撃が直撃する

「ふう・危なかった・この永続トラップカード・S I N・ドレイン・がなかったら私は負けていた・このカードは・自分がダイレクタアタックを受ける時墓地のS I Nモンスターを除外し・除外したモンスターの攻撃力分ライフを回復する・私はS I Nレッドアイズブラックドラゴンを除外してライフを二千四百回復していたのだ」黒

「何？」シ

「さらに永続トラップ・罪の解放洗脳・発動・このカードはダイレクタアタックをしたモンスターのコントロールを得る・さらに・名前にS I Nと加える・サイバーエンドドラゴンのコントロールを得て・S I Nサイバーエンドドラゴンとして私の場に君臨」黒

「カードをセットしてターンエンド」シ

「私のターン・ドロワー・手札から魔法カード・天よりの宝札を発動・互いはカードを6枚になるようにカードをドロワーする・さらに・S I N・ブレイク・トルネードを発動・フィールドにS I N・モンスターが存在するとき相手のデッキからS I Nモンスターのレベルの数だけ・デッキの上からカードを墓地に送る・S I Nサイバーエン・ドドラゴンのレベルは10よって十枚のカードを墓地に送れ」黒

「く」シ

デッキ枚数残り17

「さらに手札とデッキにある・S I Nモンスターをそれぞれ二枚墓地におくり手札より・S I N・リサイクル・カウントダウンを発動・このカードはフィールドにS I Nモンスターが存在するとき二ターンに一度・墓地にあるS I Nとなつた魔法カードをこのカードの効果としてしようできる・私は再びS I N・ブレイク・トルネードの効果を使用し・貴様のデッキから十枚のカードを墓地に送れ・ただし・私はS I Nリサイクルカウントダウンの効果を使用した・ターン・攻撃はできない・ターンエンド」黒

「く」シ

デッキ残り7枚

「俺のターン・・・」シ

(手札があつても・・・デッキがなくなれば・デュエルは俺の敗北・・・リサイクルカウントダウン・・・の発動までに攻略方法を考えなければ)

「俺は手札から・地割れ発動・・・」シ

「わつ私は・・・手札からS I Nガーディアンを墓地に送り・効果発動・ガーディアンはこのターン・S I Nモンスターの効果破壊を無効にする」黒

(奴が慌てた?・・・そういえばカウントダウンの発動条件は・・・S I Nモンスターの存在が必須・・・存在が必須?・・・確かS I Nモンスターはパラレルギア以外はレベル5以上のモンスター・・・ゆえにロックがしやすいと・転生前は友人にロックデッキでばこられたな・・・シンクロでロックするやつ・・・そういうや遊星対ジャックの最終戦・・・そういうあのカードなら・・・だが俺の手札にはチューナーや蘇生カードがないならば)

「俺はリバースモンスターとリバースカードを二枚伏せてターンエンド」シ

「私のターン・・・手札よりS I Nボックスを発動・・・次のターン・S I Nモンスターをデッキから手札に加える・ゆけS I Nサイバース・エターナルエボリューションバースト・・・」黒

「トランプ発動・・・身代わりの贈り物・このカードは自分フィールドのモンスターを墓地に送り・・・墓地からカードを一枚手札に加える俺はサイバードラゴンを手札に加える・さらに・トランプ発動・幻影の盾・フィールドのモンスターを墓地に送り・このターン発生するダメージを0にする・・・」シ

「つちターンエンド」黒

「俺のターン・ドロロー・手札よりコール・リゾネーターを発動・効果でデッキから・リゾネーターとなつたモンスターを一枚デッキから手札に加える・おれはダークリゾネーターを手札に」シ

「何をしようと・貴様はS I Nカウントダウンの効果でデッキが0となり敗北する」黒

「それはどうかな？」シ

「何？」黒

「見せてやるよ・・・デュエルの進化を手札から・サイバードラゴンを特殊召喚・さらにチューナーモンスター・ダークリゾネーターを召喚・サイバードラゴンに・ダークリゾネーターをチューニング・紅蓮の炎を駆け巡る・戦士よ・今その二双の剣を振りいまわし現れる・シンクロ召喚・いでよ・クリムゾン・ブレイダー」シ

「ほう・・・それが噂のシンクロ召喚・・・だがしかしS I Nサイバードの攻撃力は四千・それでどうするつもりだ？」黒

「攻撃だ・クリムゾンブレイダー・さらに・手札から速攻魔法・紅蓮の咆哮・このカードは融合デッキにある・レッドデーモンズドラゴンを墓地に送り・相手モンスターの攻撃力を三千さげる」シ

「何？」黒

「いけ・クリムゾンブレイダー・ツイン・クリムゾン・スラッシュ」シ

「くっだが・・・次のターン・どうあがこうが・S I Nモンスターが

手札に加わる・貴様の負けだ」シ

「それは・どうかな?・・・クリムゾンブレダーの効果・それは・相手モンスターを戦闘によって破壊し墓地に送った時次の相手ターン相手はレベル5の・モンスターを召喚・特殊召喚・できない」シ

「何?!」黒

「みたところ・SINモンスターは5レベル以上のモンスターばかり・・・これは効くだろ・・・カードを二枚ふせてターンエンド」シ

「私のターン・・・ターンエンド」シ

「俺のターン・行けクリムゾンブレダー・・・ダイレクトアタック」シ

「くそ」黒・煙幕を使い逃げる

「待て」シ

「忠告しておく・・・いずれデュエルアカデミアに大いなる災いが訪れる・・・我々セブンスターズは既にデュエル進化を知り・・・強さは桁違いだと」黒

「セブンスターズだと!?!」シ

(既にあいつらは動き出していた・・・まさか・最近・インダストリアルイリュージョン社で大量にカードの資料が盗まれた・・・まさかあいつの正体は・あの目書かれた黒フードは・・・グール

ズの残党か？)

ちなみにこのことを調べるために俺はインダストリアルイリユージ
ョン社に戻りデータの確認をしていた

脅威なるSINモンスター（後書き）

妹は修学旅行編で出てきます

寮對抗代表決定戦十代対三沢・前編（前書き）

週間アクセス2400突破

ありがとうございます

読んで下さってる皆様方に感謝しております

前回投稿した脅威なるSINモンスターに前編・後編を加わるのを
忘れました

お詫び申し上げます

それでは・お楽しみください

寮對抗代表決定戦十代対三沢・前編

俺がアカデミアに戻り・・・数日間がたった

俺は三沢・十代とともに校長室にいた

「えっ交流戦・代表決定戦？」三

「ええ・今年の一年生は既にとうかくをあらわしています・カイザ―は今年の交流戦を辞退して今年の代表は各寮から一年生・の中の一名寮長からの指名を受けた者を代表決定戦に参加させる・いわば君達は寮の代表なのです」鮫

「へえー」十

「なので・・・君達には明日・代表決定戦に参加してもらいます・・・ルールは代表が残りの代表と戦ってもらいます・では解散」鮫

解散後

「いよいよか」三

「お互いのデュエルを楽しもうぜ」十

「ああ」シ&三

翌日

「みんな誰が代表になると思いつすか」翔

「私は十代に」ももえ

「私は三沢に」ジュンコ

「私はシンに」明日香

「俺もシンに」隼人

「僕はアニキに」翔

「あつ始まるぞ」隼人

「これより寮対抗代表決定戦を開催するノーネ・対戦相手はくじで決めたノーネ・それではまず最初に対戦するのは・レッド寮・遊戯・十代・イエロー寮・三沢・大地」ク

クロノスに言われ・十代と三沢が入場する

「楽しもう」三

「ああ」十

「もうひとり・ブルー寮代表のシンは控室でデュエルを見ないことになっているノーネ・では」ク
ステージから降りる

「デュエル」三沢&十代

控室

「三沢対十代・・・俺の介入によって・二人は原作よりも強くなり
派手にやってるはずだ・・・見れないのは残念だ」シ

ステージ

「俺の先行ドロワー・俺は天使の施しを発動・三枚引いて二枚捨てる・
さらに苦渋の選択を発動・俺はマグネットウォリアー・・・と
クリッターそしてネクロガードナーを選択・さあ十代・この中から
カードを一枚選べ」三

「俺はネクロガードナーを選択」十

「俺はネクロガードナーを手札に加えたあと選択されなかったカー
ドを墓地に送る・さらにハイドロゲドンを召喚・カードを二枚伏せ
てターンエンド」三

「俺のターン・手札から大嵐を発動・さらに融合を使いアブソル
トゼロを召喚・ゼロはフィールドに水属性モンスターの数×五百攻
撃力をアップ・さらに墓地のネクロダークマンの効果発動・手札の
レベル5以上のヒーローを生贄なしで召喚できる・いでよエッジマ
ン」十

「このまま決まればアニキの勝ちっす」翔

「いけ・アブソルトゼロ・ハイドロゲドんに攻撃・エターナル・
ブリザード」十代

LP4000 - 1400 = 2600

「くっ」三

「この瞬間・墓地のトラップカード・バブルトラップを発動！このカードが・墓地にあるとき・水属性モンスターが戦闘で破壊された時・相手フィールド場のモンスターを破壊する・俺はエッジマンを破壊」三

「そんな・カードを二枚セットしてターンエンド」十

「俺のターン・俺はネクロガードナーを攻撃表示で召喚し強制転移を発動・このカードは互いはモンスターを選択して入れ換える・もつとも互いに交換に出すモンスターは決まっているがな」三

「・・・俺はアブソルートゼロ選択」十

「俺はネクロガードナーを選択・さらにアブソルートゼロでネクロガードナーに攻撃・絶対零度」三

LP4000 - 1900 = 2100

「く・」十

「焦るなよ・十代・・・ゲームはまだ始まったばかりだ」三

寮對抗代表決定戦十代対三沢・後編（前書き）

今回は三沢を強く見せられたかな？

寮对抗代表決定戦十代対三沢・後編

「俺はモンスターが戦闘で破壊されたため希望の戦士を発動・このカードは相手フィールド場に存在するモンスターの攻撃力が俺のライフを越えている場合・墓地の戦士族を特殊召喚する・蘇れ・エツジマン」十

「カードを二枚セットし・さらに天よりの宝札を発動・互いはカードを6枚になるようにカードをドロウする・ターンエンド」三

「俺のターンドロウ・ハリケーン発動・さらに融合を使い・ランパートガンナーを守備表示で召喚・行けっランパートガンナー・でダイレクトアタック・カードを二枚セットしてターンエンド」十
LP2600-1000=1600

「俺のターン（さすが十代・融合封じコンボに気がついたのか・それとも勘か？だがサイクロンがきても問題ない）俺は手札からハイドロゲドンを召喚・さらに闇の量産工場を使い墓地のマグネットウオリアー・を回収・さらに手札より・手札断殺を使い互いは手札のカード二枚を墓地に送り・さらにデッキからカードを二枚ドロウする・さらに闇の量産工場を使い・墓地のマグネットウオリアーとを回収・さらに・手札の を墓地に送り・現れるマグネツトバルキリオン」三

「攻撃力三千五百だって？」翔

「あれは伝説の決闘者・武藤・遊戯が使ったカード」明

「すごいんだな」隼

「へっスゲエな三沢」十

「誉めてる場合か？・俺は手札より・速攻魔法・収縮を使い・エツジマンの攻撃力を半分にして・ハイドロゲドンでエツジマンに攻撃」
三

「トラップ発動・忍耐の戦士発動・エツジマンはこのターン戦闘での破壊で破壊されない」十

LP 2100 - 300 = 1800

「ならば・マグネットバルキリオンで攻撃」三

「ドレインシールド発動・攻撃を一度無効にしてライフを回復する」
十

LP 1800 + 3500 = 5300

「ならば・アブソルートゼロで攻撃」三

LP 5300 - 1200 = 4100

「く」十

「カードを二枚セットしてターンエンド」三

「俺のターン・融合発動」十

「カウンタートラップ発動・封魔の呪印！このカードは手札の魔法をすてて発動する・魔法カードの発動を無効にして・無効にした魔法カードはこのデュエル中二度と使えない」三

「ならサイクロンでもうひとつのリバースカードを破壊するさらに天使の施して三枚引いて二枚捨てる・・・俺は速攻魔法融合解除を

発動・アブソルートゼロを選択」十

「何？」三

「アブソルートゼロの効果は知ってるよな？・・・このカードがフィールドを離れた時・相手モンスターすべてを破壊する」十

「しまった」三

「さらに融合素材のネクロダークマンとオーシャンを蘇生・行け・

エッジマン・エッジハンマー」十

LP1600 - 2600" - 1000

(畜生)

「勝者・レッド寮・遊戯十代」クロ

「よくやった〜・・・」「いいぞ〜」レッド寮生徒

「次の試合は三沢大地と械・シンナノーネ・・・選手入場・・・ブ
ル寮・械〜シン」クロ

シンが入場する

「十代が勝ったか・・・まあいい・・・予想圏内だ」シ

「ではデュエル・スタート」クロ

「デュエル」三&シ

寮对抗代表決定戦シン対三沢（前書き）

今回の三沢は噛ませ犬です

寮対抗代表決定戦シン対三沢

「先行はもらう・ドロー・俺はサイバラーバアを攻撃表示で召喚・さらにカードを四枚セットしさらにマジックカード・封印の黄金櫃を使いデッキから・パワーボンドを除外・除外したパワーボンドは二ターン後のスタンバイフェイズに手札に加わる・さらに天よりの宝札で互いは手札を6枚になるようにドローする・ターンエンド」シ

「俺のターン（攻撃力が四百を攻撃表示？明かに罫だ・だが）今の俺には攻めるしかない・ハイドロゲドンを召喚し・サイバラーバアに攻撃」三

「サイバラーバアの効果・このカードが攻撃表示になった俺はこのターン戦闘ダメージは0になる・さらに永續トラップ・サイバラーサモンブラスターを二枚発動・このカードは機械族が特殊召喚されるたび相手に三百ポイントのダメージを与える」シ

「まさかサイバラーバアには・機械族を特殊召喚する・リクルーター能力が?!」三

「正確には同名モンスター一体をデッキから特殊召喚するのが効果だ・ハイドロゲドンとのバトルで破壊されたため・デッキよりサイバラーバアを特殊召喚・よってサイバラーサモンブラスターの二枚の効果で六百ポイントのダメージを受けてもらう」シ

LP4000 - 6000 = 3400

「だがハイドロゲドンが戦闘でモンスターを破壊したためハイドロゲドンをデッキより特殊召喚・ハイドロゲドンでサイバラーバアを攻撃」三

「デッキよりサイバラーバアを召喚し・サイバーサモンブラスターの効果により・六百ポイントのダメージを受けてもらう」シ

LP3400 - 6000 = 2800

「それはこちらと同じだ・行けハイドロゲドン・最後のサイバラーバアを攻撃」三

「トラップ発動・サイバリーサイクルユニット・このカードは手札を二枚捨て・墓地のサイバーと名のついたカードをデッキの一番下に置きカードを一枚ドロウする・さらにサイバラーバアの効果・戦闘で破壊されたためデッキよりサイバラーバアを特殊召喚さらに六百ポイントダメージ」シ

LP2800 - 6000 = 2200

「・・・強欲な壺発動・ピケルの恩恵を発動しピケルを三枚見せて三枚使いライフを三千回復・・・カードを二枚セットしてターンエンド」三

LP2200 + 3000 = 5200

「俺のターン・手札より融合発動手札のサイバードラゴンを含むモンスターを融合素材に」シ

「カウンタートラップ発動・封魔の呪印・発動」三

「ご苦労だな・・・手札よりUFOタートルを召喚・さらにスピリットバリア・さらにサイクロンでリバースカードを破壊さらに速攻化発動・発動コストで手札を一枚捨てるこの効果で手札からバトルフェイズに通常魔法を発動できる・天使の施して三枚引いて二枚捨てる」シ

「サイバーサモンブラスターでライフを削る気か」三

「さあな？・行けサイバーラーバア・ラーバアが戦闘で破壊されたためデッキから・最後のサイバーラーバアをさらにUFOタートルでハイドロゲドンに特効さらにUFOタートルの効果でさらにUFOタートルを特殊召喚・召喚した・UFOタートルで特効さらに効果でUFOタートルを召喚し・特効さらにデッキよりサイバーフェニックスを召喚・さらに悪夢を見せてやろう」シ

LP5200 - 9000 = 4300

「何？」三

「速攻化により手札から通常魔法・オーバーロードフュージョンを発動・俺は墓地にあるサイバードラゴン二枚とUFOタートル三枚・さらにサイバーラーバア三枚と・サイバードラゴンツバアイ二枚とフィールドのサイバーフェニックスを融合・いでよ・キメラティック・オーバー・ドラゴン・このカードの攻撃力は融合素材のモンスター×八百となるよって攻撃力・八千だ・さらにこのカードは融合素材の数だけ攻撃できる」シ

「そんな・・・」三

「キメラティックオーバードラゴンの攻撃・キメラティック・レーザー・三連射」シ

LP4300 - 19200 = 14900

「勝者・械シン・よって三沢大地は・代表決定戦・敗北・ナノーネ」ク口

「がっかりだ・・・せつかく手が読まれているサイバーデッキを使ったのに」シ

「くそ・・・俺は・・・俺は絶対お前を倒す・いや倒してみ

せる「三

「では代表決定戦最終戦・レッド寮代表・遊戯十代対ブルー寮代表・械シン・・・デュエル開始ナノーネ」クロ

「デュエル」「十代&シン

寮對抗代表決定戦シン対三沢（後書き）

来週からテストが始まるので更新が遅れるかもしれませんが

楽しみにしている方々にお詫び申し上げます

寮对抗代表決定戦・十代VSシン（前書き）

すいません

先週に載せるつもりがノロウイルスにかかりのせれませんでした

本当にすいません

寮对抗代表決定戦・十代VSシン

「俺の先行ドロロー・手札から・永続魔法サイバーフォトン・フィールドを発動・このカードがフィールドに存在する時・自分のサイバーと名のついた・モンスターの数だけ・相手の魔法・トラップを無効にして破壊する・手札よりサイバーガードイアンを守備表示で召喚・このカードが召喚に成功したとき・デッキよりレベル4以下のサイバーを守備表示で特殊召喚するただし効果は無効となる・いでよプロトサイバー」シ

「何？」十

「これにより・俺はお前の融合を封じることが出来る・カードを二枚セットしてターンエンド」シ

「俺のターンドロロー・手札から融合発動」十

「当然無効」シ

「手札からシールドクラッシュ発動」十

「これも無効だ」シ

「手札よりマジックカード・天使の施しを使い・三枚引いて二枚捨てる・さらにバブルマンを召喚・(壺男が？バイ三沢)フィールドにこのカードしか存在しないためカードを二枚ドロローする・さらに手札よりヒーローチェンジ発動・フィールドのヒーローをいけにえ

に墓地のヒーローを召喚ただし同じヒーローは召喚できないけどな
するいでよオーシャン・さらに墓地のネクロダークマンの効果でエ
ツジマンを召喚して・ミラクルフュージョン発動・墓地のネクロダ
ークマンとバブルマンを融合・こい・アブソルルトゼロ」十

「トランプ発動・フュージョンアウト・このカードはフィールドの
モンスターを生贄に相手の融合モンスターの召喚を無効にして破壊
する・俺はプロトサイバードラゴンを生贄にする・さらにアブソル
ルトゼロの効果の発動に対して道連れ発動・自分のモンスターがフ
ールドから墓地に送られる時・相手モンスター・一体を破壊する・
エツジマンには道連れになってもらう」シ

「くそカードを二枚セットしてターンエンド」十

「俺のターンドロワー・手札からサイバーと名のついたモンスターを
墓地に送り・手札からサイバークエスト発動・これにより相手の
リバースカードを二枚破壊する」シ

「そんな（これじゃあ・エツジマンを蘇生できない・発動条件を満
たしてないためエツジハンマーも発動できない）」十

「さらに天よりの宝札を発動・互いにカードを6枚ドロウする・さ
らに手札からパワーボンド・手札のサイバードラゴン二枚を融合・
いでよサイバークエストドラゴン・さらにリミッター解除・パワーボ
ンドの効果も交じり・4倍となる・行けサイバークエストドラゴン・
ツインエボリューションバースト」シ

「うわ〜」十

LP4000 - 11200〃 - 7200

「これで学園の代表は俺だ」シ

「くく楽しいデュエルだった・またやるうぜ」十

「そんなことより十代・もうすぐこの学園で戦いが起こる・大切な物を失いたくなければ力を研いておけ」シ

「どうゆうことだ？」十

「いずれ分かる」シ

（次の相手は万丈目か・・・まあ負けないとしてセブンスターズでは若干不安がある・・・原作とは違いサイバー流にいたところにこっそりすり変えたからな・・・サイバーダークシリーズを取り寄せるか）

シンは知らない・・・サイバーダークシリーズを賭けてカイザーと一騎打ちになるのがもうすぐ学園で行われるのを

対ノース万丈目 目が眩んだ欲望は犬にでも食わしておけ

ノース校来航する当日

「完成」シ

（このデッキは万丈目を叩き潰す・しばらくシンクロ・エクシーズ使えないしな）で・調べましたよ・禁止制限・準制限カード・苦渋の選択とか使える時点で間違ってる・まあシンクロが発達したらルールは代わるだろうが・それより原作ブレイク作戦はまだ始まったばかり・なんせ今海馬コーポレーションに頼んでネオスがこちらに向かっている・セブンスターズ編には間に合うだろうな・ユベルは・・・現在インダストリアルリユニオン社で精霊と話せる人間が保管している・・・いやなんせ二年間派手に行ってさらに一年は平和にしたい・・・まあユベルには十代にあわせると言っている・・・それでおとなしくするとゆう約束をした・・・不安だ・・・不安でしかない・・・まあいつか・・・責任は全部十代なんだし・・・さすがにかわいそうか・・・策はあとで考えよう・・・ん電話？）

「もしもし？はいペガサスさん？」シ

ところ変わってデュエル場

「すごいカメラの数だな・・・」三

「どうやら海馬コーポレーションとインダストリアルリユニオン社のカメラがシンクロ召喚のエキシビジョン戦に今回の学園対抗を利用するみたい」明

「さてよ．．．それじゃあ万丈目は．．．」十

「血祭りにあげられるためにあそこにいることになるっす」翔

（（（（（哀れだな）））））

「さて．．．貴様にデッキを選ばせてやる．．．一つは氷．．．一つは渓谷一つは．．．暗黒さあこのなかからどれを選ぶ？」シ

「（氷だと前回トリシューラにやられたから暗黒は物騒だなら）
渓谷を選択する」万

「なら」シ

「デュエル」シ&万

「俺の先行・ドロー．おれは通常召喚権利を破棄してマジックカード・レベル・サモンを発動・手札のレベルモンスター一枚を墓地に送り・そのレベルモンスターの進化先をデッキより特殊召喚・ただし攻撃はできないが先行だからそのリスクはルールによって・関係ないの俺はアームド・ドラゴン・レベル3を墓地に送りアームド・ドラゴン・レベル5を特殊召喚・さらにカードを二枚セットして未融合・フューチャーフュージョン発動・俺はF・G・Dファイブ・ユニオンを選択・俺は融合素材のドラゴン族5枚を墓地に送る・ゴーレムドラゴン二枚とスピアドラゴンとサファイアドラゴンとタイラントドラゴンを
選択これでターンエンド」万

「俺のターン・ドロー．俺は大嵐を発動・フィールド場に存在する魔法・トラップをすべて破壊する（伏せカードは．．．うわっリビ

ングデッドに収縮かよ・・・多分レベルアップを狙ったつもりだろうけど・・・シンク口には劣るな）俺は・フィールド魔法・竜の渓谷を発動・このカードは手札からカードを一枚捨てて効果を発動する・俺は手札のドラグニティ・ファランクスを捨て・デッキからドラグニティと名のついたモンスターを手札に加える俺はドラグニティ・ドウクスを手札に加える・さらに加えたドウクスを召喚して・ドウクスは自信の効果で墓地のドラグニティを装備できる・俺はファランクスを装備しファランクスは装備カードの自身のフィールドに特殊召喚できる・万丈目こいつはチューナーだ・意味分かるよな
「シ

「まさか」万

「予想通りだ・俺は装備状態のファランクスをフィールドに特殊召喚・4のドラグニティドウクスに2のドラグニティ・ファランクスをチューニング・疾風を駆け抜ける・竜騎士よ・決着をつけるべく今この場に出現せよ・シンク口召喚・現れよ・ドラグニティナイト・ヴァジュランダ・」シ

「なんだ・たかが1900で何ができる」万

「ドラグニティナイト・ヴァジュランダは墓地にあるドラグニティを装備カードとして装備・さらに装備されている・ドラグニティを墓地に送り・攻撃力を倍にする」シ

「何？」万

「さらに・手札から永續魔法・竜操術を発動・このカードの効果で手札のドラグニティを装備する・俺はドラグニティ・ブランディストックをドラグニティナイト・ヴァジュランダに装備して・竜操術

の効果で攻撃力・五百アップし・ブランドイストックは装備モンス
ターを二回攻撃を可能にする・よってこのターンでデュエルは終了
するが・収縮発動・アームドラゴンレベル5の攻撃力を半分に・
このターンが終焉だ・行け・ドラグニティナイト・ヴァジユランダ・
・結束の双剣・二連げき・ダイイチダ〜」シ
LP4000 - 3100〃900
「うわー」万

「ダイニダ〜」シ

LP900 - 4300〃 - 3400

「何をやっている？準・貴様は全国に万丈目一族の恥さらしをした
んだぞ」万丈目長男

(これやだな・・・念のため用意したかいがあった)

シン・万丈目・アニその一の肩を叩く

「なんだ貴様」万丈目次男

「KILL・YOU・テレビのニュースを見る」シ

「ニュースだと？」万丈目ブラザーズ

ニュースを見ると

政治献金問題など万丈目兄が起こした法律違反を報道していた

「これは……馬鹿なあれは他言無用で金をかけたはず」万丈目兄

「お前の近辺のやつを買収したら出たぞ・まあ一部の奴らは海馬コーポレーションやインダストリアルリユージョン社に雇われるならいって泣きついてきたよ……お前らよっぽどひどいことしたんだな」シ

「くそ」万丈目・兄達・対応するために帰る

その後・万丈目は原作通りにオシリスレットに

さあて祭はもうすぐか……

対ノース万丈目 目が眩んだ欲望は犬にでも食わしておけ（後書き）

次回

セブンスターズ編始まり・サイバーダークを賭けた戦い・亮？シン

セブンスターズ編開幕・サイバータークシリーズを賭けた戦い・亮？シン（前書

こんな駄文を読んでくださってありがとうございます？

セブンスターズ編開幕・サイバードークシリーズを賭けた戦い・亮？シン

ノース万丈目と戦い数日がたった

もうそろそろかなっと思っっていると

「明日香君・十代君・それに三沢君・シン君・万丈目君・校長がお呼びだニヤー」一緒に校長室に来てほしいニヤー」大徳寺

廊下

「このメンバーを呼ぶ理由ってなんだ・三沢？」十

「さあな・分かるのはこのメンバーは実技成績をトップで通過しているだけだ」三

ちなみに順位は

一位シン&十代

二位明日香&万丈目&三沢

「おっカイザーとクロノス先生も一緒だ」十

その後三幻魔の説明を聞いたが飛ばすだっってみんな原作と全く同じなもの

その後鍵を受け取る前に校長いや鮫島師範から衝撃の一言が

「亮・シン君達には裏サイバー流もといサイバーダークシリーズを受け取る気はないか？」鮫

「……サイバーダークシリーズ？」
「……」
と亮以外

「サイバーダークシリーズそれはサイバー流に反し・リスペクトを否定したまさに裏サイバー」シン

「その圧倒的力とサイバー流に反したため封印されていたサイバーシリーズ……でも何故？」亮

「聞いたところセブンスターズはインダストリアルイリユージョン社のデータを盗み・そこから強力なカードを作り出すと言う……・それに対抗するにはデータが破棄されたサイバーダークを使う選択肢もあります……亮・シン受け取る気はありますか？」鮫

「俺は受け取らない……おそらくシンも」亮

「いいや受け取る……セブンスターズに対抗するために選択肢を増やすのもいいからな」シ

「……やはりあなたは変わった……インダストリアルイリユージョン社で一体何が？」亮

「別に……リスペクトデュエルみたく手加減デュエルも相手に失礼と教えられただけだ」シ

「……ならデュエルです……俺が勝ったらサイバーダーク

クシリーズは受け取らない・・・俺が負けたら何もいいません・・・
「亮

「いいだろう・そのかわり・このデュエルで俺が使用するのはサイバードークだ・・・これなら納得がいくだろ・表が勝てば表の考えが通り・裏が勝てば裏の考えも肯定される」シ

「分かりました・・・では今から1時間後デュエル場で待ってます」
亮

1時間後

「リスペクトデュエルを否定するデッキなんて認められない??？」
翔

「だけど大丈夫かしら」明

「確かに・いくら強力と言ってもサイバードークシリーズを初めて見るシンに使いこなせるか」三

「そこが勝利の分かれ目か」十

「おっ始まるぞ」万

「リスペクトデュエルを否定するサイバードークを俺は倒す」亮

「やってみな」シン

「「デュエル」「シン&亮

「先行はもらおうか・ドロー・俺は龍の羽ばたき跡を発動・手札のドラゴン族を二枚墓地に送り・カードを二枚ドロー・現れよサイバードークーの機械・サイバードークホーン・こいつは召喚に成功した時・墓地のレベル4以下のドラゴン族を装備する・俺は墓地にあるレアメタルドラゴンを装備・サイバードークシリーズは装備したモンスターの攻撃力分攻撃力をアップする・レアメタルドラゴンの攻撃力は2400よって攻撃力は3200だ」シ

「先行で攻撃力3000越え？」明

「あんなカード反則っす」翔

「いや・レアメタルドラゴンはその攻撃力ゆえ通常召喚は許されていない・特殊召喚でのみ召喚可能なモンスターだ」万

「さすがドラゴン族使い」三

「俺はカードを二枚セットしてターンエンド」シ

「俺のターン・パワーボンド発動・これにより手札のサイバードラゴン三枚を融合いでよサイバーエンドドラゴン・パワーボンドによつて攻撃力は二倍・行け・サイバーエンドドラゴン・エターナルエポリューションバースト」亮

「トラップ発動・パワーウォール・ライフの百ダメージにつきデッキのカードを一枚墓地に送り・そのダメージを無効にする・俺は48枚のカードを墓地に送り・サイバーエンドドラゴンのダメージを無効」シ

「何？自分のデッキを無効にしてまで・・・なぜ」亮

「なぜ？答えは単純だ・・・勝つためだ・サイバードークは破壊される時・代わりに装備カードを破壊する」シ

「サイバードラフを召喚し効果で生贄にしてパワーボンドのデメリットを回避カードを一枚伏せてターンエンド」亮

「俺のターン・ドロー・俺は手札から・同名排除発動・相手のモンスター一体を選択し・そのモンスターの同名モンスターがいる場合それを墓地に送る・いなければ選択したモンスターの攻撃力の半分のダメージを受ける・俺はお前のサイバードラゴンを宣言・融合デッキにあるはずだ」シ

「確かにサイバードラゴンは二枚ある・墓地に送る」亮

「俺は強欲な壺を発動・デッキからカードを二枚ドロー・これで準備は整った・手札より黄泉の恵発動・このカードは墓地に40枚以上のカードが存在する場合発動可能！デッキと手札にあるカードを全て墓地に送り・墓地にある6枚のカードを手札に加える・デビルサイクロン発動このカードはライフを半分払い・相手のリバーサイドを破壊する・このさいチェイン出来ない・さらにリバーサイド発動・輪廻どくだん・このカードは墓地にあるモンスターを俺が宣言した種族にする・俺はドラゴン族を選択・パワーボンド発動・フィールドのサイバードークホーンと手札のサイバードークエッジ・キールを融合・いでよサイバードークドラゴン・パワーボンドの効果で攻撃力は二倍さらにドラゴン族となったサイバードラゴンを装備・さらに墓地のカード一枚につき攻撃力・100ポイントアップ・墓地のカードは50枚・よって攻撃力・11000さらにマジックカード・収縮・相手モンスターの攻撃力を元々の半分にして・攻撃・いけ・サイバードークドラゴン・フルダークネス・バー

スト「シ

LP4000 - 9000 = - 5000

「くそつ
「亮

セブンスターズ編開幕・サイバータークシリーズを賭けた戦い・亮？シン（後書

今週は四話ぐらい投稿したいと思います

セブンスターズ編開幕・サイバータークシリーズを賭けた戦い・亮？シンデユエ

すいません???

携帯で投稿して文字数の数を超えていることに気がついていません
でした???

セブンスターズ編開幕・サイバーダークシリーズを賭けた戦い・亮？シンデュエ

「お前らしくもない・あの時普通はサイバードラゴンを守備表示にするか・それともサイバーツイン・ドラゴンで攻めれば結果は違っていたはずだ・お前はサイバーダークに恐怖を感じていたんだな」シン

「シン君・デッキを強化してもらったのは嬉しかったけど・今回は認められない・徹底的に叩き潰すのはサイバー流に反する・サイバー流のデッキを返せ」翔

「よせ翔・これは俺とシンの問題だ」亮

「けど」翔

「翔・サイバー流のカードは預けてやるそれと亮・一つ警告しておく・リスペクトデュエルの甘い考えはこれからお前の足を引っ張ることになるぞ」シン

「なら・俺はそれを乗り越えてみせる」亮

その後俺は原作で大徳寺先生が預かる予定の鍵を受けとった

その後カイザーはカムイラに負け・リスペクトデュエルを捨てる決意をするのもうすぐである

夜

「いきなり何の用事だ？神」シン

「主には神の器の試練を受けてもらう・このままでは幻摩は復活するからの」神

「いいだろう・相手は誰だ？」シいきなり男が現れ
「俺達だ」二人組

神からの試練・対天豪ジロウ前編（前書き）

作者乱入（笑）

神からの試練・対天豪ジロウ前編

「試練は・特別な空間で行う」神は三人を転送した空間

「まずは自己紹介だ・俺は天豪ジロウ・パラドックスとともにロマンを追う者だ・今回はたまたま死んだところ神の手伝いをするかわり・とあるカードをいただいた」ジ

「俺の名は械シン・転成者だ」シ

「時間がないぞ・ジロウ・両者構えろ」パ

「これより試練を始める」ジ・デュエルディスクを装着

「デュエル」ジロウ&シン

「俺のターンドロロー・俺は永続魔法・未来融合を発動・俺はファイブ・ゴッド・ドラゴンを選択しデッキよりウィッシュドラゴンとトライホーンドラゴンと伝説の白石を墓地に・さらに伝説の白石の効果によりデッキからブルーアイズホワイトドラゴンを三枚手札に・さらにバニラ・リバーズ発動・このカードは俺の通常召喚権利を破棄する代わりに墓地の通常モンスターを特殊召喚できる・いでよ・俺のデュエルの始めるきっかけをつくった・ドラゴン・トライホーンドラゴンを墓地から攻撃表示で特殊召喚・さらに融合発動・手札のブルーアイズホワイトドラゴン三枚を融合しいでよブルーアイズアルティメットドラゴン・カードを二枚セットしてターンエンド」ジ
「（ドラゴン族デッキか？）俺のターン・俺は手札から・強欲な壺を発動・さらに手札からワン・フォーワンを発動・このカードは手

札のモンスターをコストにデッキからレベル1モンスターを特殊召喚できる・いでよレベルスティーラー・さらにレベルスティーラーを生贄にいでよ雷帝ザボルグ」シ

「帝ビートか」パ

「帝ビート？」ジ

「簡単に言えば生贄召喚で効果を発揮するモンスター達を中心にしたビートダウン・雷帝ザボルグは生贄召喚で召喚した時・相手モンスターを一体破壊する」パ

「まさか」ジ

「そのまさかさ・ザボルグの効果でアルティメットドラゴンを破壊する・さらに永続魔法・強者の苦痛発動・このカードの効果でトライホーンドラゴンのレベル×100ポイント分トライホーンドラゴンの攻撃力をダウンさせる」シ

「何々俺のフェイバリットモンスターが」ジ

「行け・ザボルグ・サンダー・ナックル」シ

「くっ」ジ

LP4000 - 4000 = 3600

「カードを二枚セットしてターンエンド」シ

「俺のターン・ドロー・強欲な壺を使い・デッキからカードを二枚ドロー・さらにリバースカード・ドラゴンの恵を発動・墓地のドラゴン族が7枚・以上の時・デッキからカードを二枚ドロー・さらに

手札から・同名召喚発動・自分のデッキから・レベル四以下のモンスターを墓地に送りその同名モンスターを蘇生させる俺はウィツシユドラゴンを墓地に送り・墓地にあるウィツシユドラゴンを蘇生・さらにウィツシユドラゴンの効果で・ウィツシユドラゴンを生贄にしてドラゴントークンを二体召喚・さらにマジックカード・ドラゴン・トークンミラー・発動フィールドのドラゴン族のトークンを選択し同じ名前のトークンとしてコピートークンを特殊召喚するさらに・壺の中の魔術書を発動・互いはカードを三枚引く・さらに俺はサイクロンを使い・強者の苦痛を破壊「ジロウ・一枚のカードを持ち構える」

「・三体のモンスターを生贄に」ジ

(くるか)パ

「何だ?・この威圧感は??」シ

「いでよ・三幻神の一体・オベリスクの巨神兵」ジ

「三幻神だと?」シ

「これこそ試練を乗り越えた時・お前に与えられる力だ・行け・オベリスクの巨神兵・ゴッド・ハンド・クラッシャー」ジ

「うわ?」シ

LP4000 - 1600 = 2400

「どうした?デュエルはまだまだ始まったばかりだぞ」ジ

神からの試練・対天豪ジロウ前編（後書き）

次回

オベリスクの巨神兵を攻略したシン・しかし・ジロウにとっては本
当の戦いのための準備にすぎなかった

次回

神からの試練・対ジロウ後編
二つの神を打ち破れ

神からの試練・対天豪ジロウ後編（前書き）

神の効果は原作とタッグフォースのごちやまぜです

神からの試練・対天覇ジロウ後編

「俺はカードを一枚セットして封印の黄金櫃・発動デッキのカードを一枚除外二ターン後のスタンバイフェイズに手札に加える・ターンエンド」ジ

「俺のターン・(三幻神・確かに三幻神があれば三幻魔に対抗できるかもしれない)・俺はバースドラゴンの効果を使用してバースドラゴンを特殊召喚・さらにマジックカード・エンペラーサモン・墓地にある帝を選択・相手フィールドに攻撃力3000以上のモンスターがあるとき・通常召喚権利とバトルフェイズの権利を破棄してフィールドのモンスターを生贄にデッキから帝を特殊召喚できる・いでよ氷帝メビウス・カードを二枚セットしてターンエンド」シ

「俺のターン」ジ

(奴は何故?レベルステイラーの効果を使わなかった?・・・ジロウが攻撃1600以上のモンスターをドロールした場合負けだぞ・・・となる)と手札にバトルフェーダーかあのリバースカードか)パ

「俺のターン・マジックカード・龍の叫びを発動・墓地の二枚除外して・カードを二枚ドロールする・俺はトライホーンドラゴンと・ウイッシュドラゴンを除外してカードを二枚ドロール・サファイアドラゴンを召喚・氷帝メビウスにサファイアドラゴンで攻撃・サファイアプレス・さらにオベリスクの巨神兵でとどめ」ジ

「かかったトラップ発動・氷帝の息吹・このカードは氷帝メビウスをバトルで破壊されたターンバトルフェイズを強制終了にする・さらに相手モンスターの数だけ・氷像トークンを特殊召喚」シ

「なん・・・だとっ？・俺はこれでターンエンド」ジ

「俺のターン・天よりの宝札を発動・互いは手札を6枚になるようにカードをドローする氷像トークンを生贄に炎帝テスタロスを召喚・テスタロスの効果・生贄召喚に成功した時・相手の手札を一枚捨てさせ・それがモンスターならそのレベル×100ダメージを相手に与える一番右を選択」シ

「当たりだ・二枚目のトライホーンドラゴンだよって800のダメージを受ける」ジ

LP3600 - 800 = 2800

「まだまだ・炎帝の拳裁を発動・このカードはフィールドに存在する氷像トークンと氷帝の息吹を墓地に送り前のターンメビウスを破壊したモンスターの攻撃力分アップ・サファイアドラゴンの攻撃力は1900・よって攻撃力4300・行けテスタロス・炎の鉄拳・バーニング・ラッシュ」シ

LP2800 - 300 = 2500

「これであなたに三幻神はいないターンエンドだ」シ

「こつもあつさり・オベリスクが倒されるなんてな・俺のターン・だけど・勘違いしてないか？確かに三幻神は生贄のコストが重い・だから入れるにしても一枚が限度・だがもし三幻神が全部入ったデッキを俺達が使ひこなせるとしたらどうする？」ジ

「何？」シ

「俺は・スタンバイフェイズに封印の黄金櫃に封印されていたカー

ドを手札に死者蘇生と早すぎた埋葬を使い・ウィツシュドラゴンとブルーアイズホワイトドラゴンを蘇生・ウィツシュドラゴンの効果を使い・トークンを増やす・さらに・大嵐を使い・互いのリバーズカードをすべて破壊・天空の神よ・我に力を・三体のモンスターを生贄に「ジロウ・再び構える

「来るのか？天空の神が」シ

「いでよ・オシリスの天空竜」ジ

「カードをセット・行け・オシリスの天空竜・サンダーフォース」ジ

「手札のクリボーの効果を使い・このターンのダメージを一度だけ・0にする」シ

「ターンエンド」ジ

「俺のターン・・・さすが試練を与えてくれる人だ・ワクワクするぜ」シ

「照れるな・・・だがどうする・攻撃力4000のオシリスの天空竜を倒すには至難の技だぞ」ジ

「だろうね・・・だからこそ・僅かな希望を賭けてのこのカードを入れたんだ」シ

「まさか・・・帝シリーズの最強モンスターを起動するための条件を整えることができるのか」パ

「できるさ・マジックカード・帝王の儀・これにより・墓地の三種

類の帝をデツキに戻し・いでよ六種類の属性の力を得た化身・E・
エレメンタル・エンペラー・キング
E・K「シ

「攻撃力0?なら・オシリスの召雷弾で破壊できるはず」ジ

「エレメンタルエンペラーキングはカード効果でフィールドを離れず・さらに戦闘でも破壊されない・このカードの攻撃力は送られた帝と属性の数×600となる・行くぜ第一弾・苦渋の選択を發動・俺は・地・水・炎・風・闇のカードを選択さあ・あなたはどれを選ぶ?」シ

「闇を手札に加えてくれ」ジ

「選択されなかったカードは墓地にこれにより・エンペラーキングの攻撃力は2000・まだまだいくぜ・魔法石の採掘を發動・手札二枚をコストに・墓地の魔法を手札に加える・俺は苦渋の選択を手札に・この際・光と闇のモンスターを墓地に送つたためエンペラーキングの攻撃力をさらに1000上昇・さらに墓地から回収した苦渋の選択を發動・今度は地・水・炎・風・闇の帝を選択」シ

「風を加えてくれ」ジ

「それ以外のカードを墓地に送り・エンペラーキングの攻撃力を2000上昇・さらに天使の施しを使い・三枚引いて二枚捨てる・さらに風と光の帝を墓地に送つたため・さらに1000上昇」シ

「攻撃力・6000だと」ジ

「バトル・エレメンタルエンペラーキングでオシリスの天空竜に攻

撃・エレメンタル・ハンマー」シ

「トラップ発動・くず鉄のかかし・攻撃を一度無効にする・残念だったな・勝ち決定した」ジ

「ああ．．．．．俺の勝ちだ・手札から速攻魔法・ダブル・アップ・チャンスを発動」シ

「はっ?．．．ダブルアップチャンス???」ジロウ&パラドックス

「このカードは攻撃を無効にされた時発動可能・攻撃力を二倍にしてもう一度攻撃できる・行け・エレメンタルエンペラーキング・エレメンタル・シュート」シ

「くっ」ジ

LP2500 - 8000〃 - 5500

「勝者・械シン・第一試練を合格と認める」パ

デュエル後

「ふっ試練を乗り越えた証だ受け取れ」ジロウはオベリスクとオシリスをシンに手渡した

「ありがとうございます」シ

神からの試練・対天裏ジロウ後編（後書き）

オベリスクとオシリスを受けとったあと

「試練は衝撃による被害を避けるため時間の流れがはやい空間で行う・ゆえに今は朝だ・お前の体は寝ている状態である・今我々は君の精神空間に試練を与えるためにいる・俺とのデュエルは現実世界の夜行う・」パ

「はい」シ

「起きようと思ったら・起きれるはずだ・ではさらばだ」ジ

その後シンは十代がセブンスターのダークネスに勝利したことを知った

試練の空間

「まさか・君が負けるとはな・ふっ・鍛練が足りないな」パ

「ふっ・確かにな・・・だが・あいつ・強いぜ」ジ

「それは理解している・彼は必ず・俺が使うラーの翼神竜を攻略してくるだろうが・俺は負けない」パ

「相変わらず自信たっぷりだな」ジ

「当然だ・・・器と言うデッキを本気で作った奴ほど強い奴はいないぜ」パ

パラドックスはラーの翼神竜を見てそうつぶやいていた

神からの試練・対パラドックス（前書き）

遊戯王さんご指摘ありがとうございます

ルールにそった修正版はこの小説を書き終えたら書き直します

神からの試練・対パラドックス

クロノスがカミューラに敗れた夜

「これから第二試練を始める」ジ

「デュエル」シ&パ

「俺の先行・ドロー・俺は手札一枚をコストにトラップブースターを発動・このカードによりこのターン・俺はトラップカードを直接発動できる・俺は血の代償を発動・俺は合計1500ポイントのライフを払い・イエローガジェットから三色のガジェットを召喚・さらに冥界の宝札を発動してその三体を生贄にいでよ・オベリスクの巨神兵・さらに冥界の宝札の効果で二枚ドロー・手札からカードを二枚伏せてターンエンド」シ

LP4000 - 1500 = 2500

「俺のターン・俺は手札一枚をコストに罠の逆利用発動・このカードにより俺はお前のトラップカードを使うことができる・血の代償のコストでライフを1500払い・ガンナードラゴン二体とバルバロスを妥協召喚・さらに・命削りの宝札を使いカードを5枚になるようにドローする・三体のモンスターを生贄に・・・俺はラーの第一能力の覚醒のための呪文を唱える」パ

LP4000 - 1500 = 2500

「まさか・分かるのか？古代神官文字が」シ

ヒエログリフ・テキスト

「わかりやすいように唱えてやる・太陽神は三体の生贄を束ねてその力を得る・ただし・神を従えし者・古の呪文を天に捧げよ・いでよラーの翼神竜・さらに攻撃だ・ゴッド・ブレイズ・キャノン」パ

「トラップ発動・ゴッドハンド・オベリスクが存在している時発動可能・このカードは俺に対するダメージを0にしてさらにオベリス

クは戦闘で破壊されない・さらにゴッドハンドを除外し互いは六枚
ドローする」シ

「ふっ・俺はカードを二枚セットセットしてターンエンド」パ

「俺のターン・ドロー俺はバクマンウィルス発動・このカードはこ
のターン特殊召喚するモンスターのもとの攻撃力と守備力を入
れ替える・さらにバニラ招集・このカードの効果で通常召喚権利を
破棄して通常モンスターを9枚加える・メカハンター三枚と・ポン
コツの機械兵三枚と・ビツクバイパー三枚を手札に・手札の機械族
を任意の枚数すて・いでよマシナーズカノン・バクマンウィルス
により元攻撃力は2200さらに自身の効果で捨てるコストにした
機械族の数×800・よつて攻撃力は9400・ラーに攻撃・・フ
ルバースト」シ

LP2500 - 800 = 1700

「ラーを倒すとはなかなかやるな・だが俺はその上を目指す・トラ
ップ発動・デストロイ・ドレイン・このカードはレベル8以上のモ
ンスターが戦闘破壊された時・破壊したモンスターの現在の攻撃力
分ライフを回復する」パ

LP1700 + 9400 = 11100

「ならオベリスクでダイレクトアタック」シ

「甘い・トラップ発動バトル・リボーン・サモン・このカードはこ
のターン戦闘破壊されたモンスターを蘇生する・蘇れラーの翼神竜」
パ

LP11100 - 1000 = 10100

「しまった？」シ

「俺は超古代神官文字を唱える・時ひとつとして神は不死鳥となる・

選ばれし魔物は大地に眠る・ライフを1000払い・ラーをゴッドフェニックスに・オベリスクを破壊」パ

「くっ俺はカードを二枚セットしてターンエンド」シ

「俺のターン・バルバロスを妥協召喚・さらにライフを千払い・不条理な予言発動・このカードは俺が宣言したカードがデッキにある場合・互いはそのカードをデッキトップにおく・お前のデッキになる場合・お前はデッキから好きなカードを手札に加える・俺が宣言するのは・死者蘇生」パ

「確かに俺のデッキには死者蘇生がある」シ

「なら互いは死者蘇生をデッキトップに置く・分かるなこの意味が・
・ラーの翼神竜は次のターン・復活する・One Turn・Ki-
i-11の能力で攻撃力を得てな」パ

「くっ」シ

「カードを二枚セットしてターンエンド・・・はやいがまもなく終局だ」パ

神からの試練対・パラドックス（前書き）

最近タッグフォースにはまるけどタッグフォース2だけ持っていないから第二章はめちやくちやになるかもしれない不安に陥る作者です

神からの試練対・パラドックス

「俺のターンンドロー。俺はこの瞬間・バグマンウィルスの効果は消えマシナーズカノンの攻撃力はバクマンウィルスのデメリットにより攻撃力0に・さらに手札からデビルズサンクチュアリを二枚発動・これにより・二体のトークンが生まれマシナーズカノンと二体のトークンを生贄にオシリスを召喚・さらに冥界の宝札で二枚ドロ・・カードを三枚セット天よりの宝札発動してターンエンド」シ

「俺のターンンドロー・このターンがこのデュエルの勝敗を決める・死者蘇生発動・当然蘇生させるのはラーの翼神竜・第二能力を発動させるため・呪文を唱える・神は地より蘇生する・再生の術と従者の命を与えよ・時はひとつであるうとも・戦場の敵は炎によつて屍と化す・ライフを一残し・それをラーの攻撃力に変換さらにバルバロスを生贄にバルバロスのもととの攻撃力を加算して攻撃力は13099・行け・ラーの翼神竜・ゴッドブレイズキャノン・」パ

「この時を・・・待っていた・俺は・トラップ発動・転生交換・これにより・俺は手札をすべて捨て・カードを捨てた枚数分ドロ・する・さらに堕天使の施しで捨てたカードを手札に戻す・さらに・リバーストラップ・リサイクル・サーチャー・これにより・墓地のカード三枚を手札に加える代わり・このターンから数えて10ターン・俺は通常召喚とドロできない・だがオシリスの攻撃力は手札が15枚のため」シ

「攻撃力・15000だと?・これでは融合解除で回避しきれない」
パ

「行け・オシリスの天空竜・サンダー・フォース」シ

「ぐわー」パ

LP1 - 15000" - 14999

「ふっ・・・今回は油断してしまったな・・・受け取れ・ラーの翼
神竜だ」パ

「ありがとうございます」シ

「あっそうだ・・・カムイラを倒した後・面白いことが起きるぞ」ジ

「面白いこと？なんですか？」シ

「あとでのお楽しみだ・じゃあな」パ

シンは自分の部屋で目覚めると速攻に十代が飛び込んで来てカイザ
ーが敗北したことを知り・翔からサイバーシリーズを返却された

コミュニーラ対シン(前書き)

自分はオリカのセンスないな

カミューラ対シン

・・・亮が敗北した

クロノスが敗れた時・警告として幻魔の扉対策にカウンタートラップを渡したが亮はくだらないプライド・俺にリスペクトデュエルの素晴らしさを見せるために使わなかった

俺は以前亮のやり方を否定した
だが自業自得とは思わない・

かつて亮が俺に託した・サイバーデッキのレシピを俺流にアレンジした

神はまだ使えない

ならば俺はこのデッキを使うさ

かつて転生前の俺が使っていたカオスサイバーを

「カミューラ・・・勝負だ」シ

「いいわよ・そのかわり・あんたが負けたら・あんたが人形に」カ

「お前が負けたら・セブンスターズのとある男の情報の引き換えとクロノス先生とクソ弟・弟子の亮をもとに戻してもらおう」シ

「いいわよ・・・それにしても・この人形とは兄弟弟子でしょう？」
カ

「幻魔の扉のようなカードが警告しておいたのに・そいつは勝利を捨てた大馬鹿野郎さ・・・素直にサイバレーザーの効果を使つて攻撃すれば自分も弟も助かったのによ」シ

「あら詳しいのね・・・確かにそのとおりよ・あの時はヒヤヒヤしたわ・まさか・あんな嘘に騙されるなんて・あなたに嘘は通じないそうね・・・あの男が注目してるから・楽しみね」カ

「そんな・お兄さんは嘘に騙されて」翔

「卑怯だぞカミューラ」十

「外野は黙ってる・始めるか」シ

「ええ」カ

「デュエル」カミューラ&シン

「俺の先行・手札から暗黒の封磁器を発動・このカードは発動後墓地に送られ・墓地に存在する間・相手の魔法・トラップの発動に対して手札から二枚捨ててその効果を無効にして破壊する・俺はサイバー・ワイバーンを守備表示で召喚・このカードは召喚に成功した時・次の相手ターン・デッキからサイバードラゴンを手札に加える・カードを二枚セットしてターンエンド」シ

「私のターンドロー・私は手札を一枚捨ててマジックカード・吸血

鬼の恐怖を発動・このカードは相手に500ダメージを与えてデッキからアンデット族モンスターを次の私のスタンバイフェイズに墓地に存在するこのカードを除外して手札に加える・私はアンデットサモナー・アンデットサモナーを墓地に送り・さらに通常召喚権利を破棄して墓地のヴァンパイア・ロードを蘇生・行け・ヴァンパイア・ロード・ヴァンパイア・アタック」カミューラ

「リバースカード発動・サイバーコイル・俺はサイバーワイバーンを攻撃表示にするかわり・デッキからサイバーと名のついたモンスターを二枚手札に加える・さらにダメージを受ける時・ガードブロック・これによりダメージを0にしてカードを一枚ドロウする」シ

「なんですって？私はカードを二枚セットしてターンエンド」カ

「俺のターンドロウ・俺は大嵐を発動・これにより互いの魔法・トラップゾーンにあるカードをすべて破壊・さらに融合発動・手札のサイバークェルベロスとサイバー・トライデントホーンを融合・いでよサイバー・ビースト・ブレイク・さらに天よりの宝札を使い互いは手札を6枚になるようにカードをドロウする・パワーボンドを発動・サイバードラゴン三枚を融合いでよサイバーエンドドラゴン・サイバービーストブレイクの効果でサイバーエンドにこのカードを装備・行け・オールエポリューションエンターナルバースト」シ

「この瞬間バトルフェイダーの効果発動バトルフェイズを終了させてこのカードを特殊召喚する」カ

「無駄だ・サイバービーストブレイクの効果・このカードを装備しているモンスターが攻撃するとき相手は手札にあるカードの効果を「使用できない」シ

「そんな・・・」カ

LP4000 - 6000" - 2000

「さて・・・お前はまもなく自分で仕掛けた闇のゲームの罰を受けるわけだが・・・約束通り・情報をよこせ」シ

「わかったわ・・・あの男は・セブンスターズ副リーダー・そして・あのお方に新カードの情報を流した張本人でかつてインダストリアルイリユニオン社にいた・・・罪殺・バリラよ・・・ここでお別れね・・・せいぜい・・・意気がってなさい・きゃはは」カ

その後・カミューラの城は崩れ・俺達はセブンスターズから鍵を二つ奪われた

次の日

「あー皆さん・今日は授業を始める前に・今日からここで働く・先生を紹介するノーネ」ク

「はじめまして・作者・パラドックスです・担当は実技です」パ

「はじめまして・天豪ジロウです・担当科目は理系です」ジ

回りが騒ぎ始めるがシンは

「ウンダウンドロドーン」シ

そうゆうシンの悲しき叫び声アカデミア全体に響き渡ったとゆう

？タニヤ&ザルク？・あの二人の前では全て無力boyシン

「であるからにして・この物理的法則がありえると発見されました」
ジ

こんにちは・シンです

試練の相手だったパラドックスさんとジロウさんがアカデミア教師として赴任して一週間経ちました

一週間の間しばかれました

あの二人がいればセブンスターズに三幻魔の封印を解き放たれることはないんじゃないかね

そう思っているとセブンスターズより挑戦状が来ました

タニヤかそう思ってたならタニヤだけではなく黒蠍までいました

どうやらセブンスターズのリーダーがカムイラが負けたことに腹をたてたらしく・姑息な手段を使えといい・チートカードを渡したようです

タッグデュエルを望んでいたのでタッグデュエルでデュエルするこ
とになりました

「誰が出る？」十

「俺だ」万丈目&三沢

「待て・今回は俺達がやるう」ジ

「先生が・・・そういや先生のデュエルまだ見てねえや・楽しみだぜ」十代・目をキラキラさせながら

「ったく仕方ないなジロウ・今回は攻める？守る？」パ

「守るで」ジ

「分かったよ・とゆうわけでドン・ザ・ルークとタニヤ・ウォーミングアップとして俺達が相手だ」パ

「ウォーミングアップだど??舐められたものだ・」タ

「ならば・行くぞ・」ザ

「デュエル」パラドックス&ジロウ&ザルーク&タニヤ

順番はザルーク ジロウ タニヤ パラドックスです

「俺の先行・俺は俺自身・ドンザルークを召喚・カードを二枚セツトしてターンエンド」ザ

「俺のターン・古のルール発動・これによりトライホーンドラゴンを特殊召喚・カードを二枚セツトしてターンエンド」ジ

「私のターン・手札からアマゾネスの集団ののろしを発動・このターン・アマゾネスと名のついたモンスターを通常召喚に加え二回召喚できるさらにもう一度同じカードを使い・アマゾネスの吹き矢兵二体召喚・さらに手札からアマゾネスの聖戦士を召喚・さらに手札

から天よりの宝札を使い互いのプレイヤーは手札を6枚になるようにカードをドロウする・さらに私は吹きアマゾネスの矢兵とアマゾネスの聖戦士を召喚・カードを二枚セットしてターンエンド」タ

「俺のターン・俺は・カードを4枚セットして・バルバロスを妥協召喚・ターンエンド」パ

「俺のターン・黒蠍団召集発動・これにより・チック・ゴーク・クリフ・ミーネを手札より特殊召喚・影武者黒蠍により・タニヤのモンスターに首領・ザルク・黒蠍・畏はずしのクリフ・黒蠍・逃げ足のチック・黒蠍・強力の高グ・黒蠍・棘のミーネ扱いとして・さらにリバースカード必殺!黒蠍コンビネーションを発動・これにより黒蠍は全員ダイレクトアタック可能・さらに念には念を込めてアマゾネスの吹き矢兵三体の効果をトライホーンドラゴンを対象に発動・攻撃力を合計・1500ダウン・行け・やろうども」ザ

「必殺・黒蠍・コンビネーション」モンスター達

「甘い・スピリットバリア発動・俺達のフィールドにモンスターが存在するため・俺達への戦闘ダメージは0だ」パ

「ヒヤヒヤしたぜ・さすがパラドックス」ジ

「だが・それならモンスターを0にするまで・俺でトライホーンドラゴンを攻撃」ザ

「トライホーンドラゴン??」ジ

「慌てるな・リバースカード・進化の奇跡を・俺はバルバロスを生贄に発動・トライホーンドラゴンは今・進化する・行け・ジロウ」パ

「ああ・時・主を守るため・炎の力で進化した姿で現れよ・いでよ・
トライホーンドラゴン・マグナ・ブレイズ」ジ

「攻撃力・3800だと」タ

「く・俺はターンエンドだ」ザ

「俺のターン・俺は死者蘇生を使い・パラドックスのバルバロスを
蘇生・さらにライトニングボルテックスを使い・お前達のモンスター
を全て破壊・さらにトライホーンドラゴン・マグナブレイズの効
果発動・手札のモンスターとレベル8のバルバロスを弾丸として墓
地に送り・に相手のリバースカードを全て破壊」ジ

「何？」ザルーク&タニヤ

「俺はその効果にチェーンして死の弾丸を発動・このターン・効果
で破壊されたカード一枚につき100ダメージだ」パ

LP4000 - 1300 = 2700

「さあ・派手に決めるか」パ

「ああ・トライホーンドラゴンマグナブレイズ・トライホーンブレ
ス」ジ

「ぐわー」ザルーク&タニヤ

LP2700 - 3800 = -1100

「くそ・・・俺達の負けだ・おとなしく帰るぜ」ザ

「私は婿探しの旅を続けよう」タ

「はあ」シ

「元気でな」パ

「いい婿さん見つけるよ」ジ

「ああ」タ

? タニヤ&ザルーク?・あの二人の前では全て無力boyシン(後書き)

その後

パラドックスの部屋

「さて・・・今日のデュエルの復習だ・・・??」パ

「ゴメン・パラドックス許して・」ジ

「お前は相変わらず・デュエルで人頼りすぎ???・もつと技術をあげる・この転生する直前まで初心者だった男が・伏せカードが・オプシオンハンター???ふざけんな・凡庸性の高いカードをいれる・今日は徹夜だ??」パラ

「NOOOOOON」ジ

迫りくる闇（前書き）

アンチはやだな（笑）

迫りくる闇

「さて・この状況をどうやって攻略する・丸藤翔」パ
シンです

もうすぐ学園祭になるのですがレッドはともかくイエローの実力が低いと言い出したパラドックスにより現在修羅場です

ただ十代が十回中十回チートドロで機械を狂わせたため現在はレッドは十代とゆう希望にすがっています

現在翔が解いてる詰めデュエルは

なんとかエクゾディアを揃えることが必須条件で

翔はミスで生還の宝札を発動し忘れたため現在パラドックスさんの怒りをかっけています

とすると

「大変ナノーネ・アドビス三世と名乗る男に・シニョール三沢とシニョーラ明日香が敗北したノーネ」ク

ありがとうセブンスターズ・君の乱入で翔は救われたよ

と目的の場所に向かおうとしたところパラドックスさんに呼びとめられ十代が相手してくると言った

「なんですか？」シ

「・・・こっさり海馬コーポレーションのデュエル記録を見た結果・今回アドビス三世はアンデットシンクロを使っていることが判明した」パ

「なんだって・・・まさか」シ

「お前の追う謎の男の影響だろう・それとも一つ・お前は気がついてないみたいだが・昨日からお前を監視する気配がいるぞ」パ

「ほう・気配を隠したつもりだったがまあいい」？

男が姿を現す

「罪殺バリラ」シ

「さあデュエルだ」バ

「この異様な空間・ふっシン例のデッキを使え・この空間は邪魔はされないし誰にも見えない」パ

「解りました」シ

「デュエル」シン&バリラ

「俺の先行・クリッターを守備表示で召喚・さらにカードを二枚セツトしてターンエンド」シ

「俺のターン・ハリケーン発動」バ

「アンチSINNをナメるなりバースカード死のデッキ破壊ウィルスをチェーン発動クリッターを生贄に相手の手札の攻撃力1500以上のモンスターを全て墓地に送る・さらに3ターンの間お前のドローカードを確認してそれが攻撃力1500以上なら確認したカードを墓地に送る」シ

「何？」バ

「SINNレッドアイズに・SINNデーモンの召喚・さらにはSINNブルーアイズまで抱えているなんて・そのカードを墓地に送れ・さらに俺はクリッターの効果でバトルフェーダーを手札に」シ

「俺はSINNワールド発動・さらにマジックカード・SINNサンクチュアリを発動・墓地のSINNモンスターを蘇生する・蘇れSINNブルーアイズでダイレクトアタック」バ

「甘い・戻されたトラップ発動・希望の光・ダイレクトアタック宣言時・戻されたこのカードを除外してデッキからレベル二以下のモンスターを特殊召喚・いでよ聖なるあかり・このカードが存在する限り・闇属性モンスターは攻撃できず・お互いは闇属性モンスターを召喚・特殊召喚できない」シ

「何？これでターンエンド」バ

「俺のターン・俺は地割れを発動してSINNブルーアイズを破壊さらに・聖なるあかりを生贄にドロランダ召喚・さらに強欲な壺を発動・デッキからカードを二枚ドロー・二重召喚を使いヤタガラスを召喚・ヤタガラスでダイレクト・これでお前はドローできないしかもドロランダは相手がドロー出来ないターンが十ターン続いた時・

俺の勝利が確定する・お前の手札は0のためこの繰り返しで終わら
だ」シ

「嘘だ・・・ウソダー」バ

特殊勝利で勝利したためバリラは消え・奪われたS I N M O N S T A I
を取り返すことに成功した

ただ

「今日のデュエルは80点だ」パ

この人にアンチデッキを使わなきゃ怒られるところだ

この人はマジで怖い

優しいけど怖い

後日吹雪さんの記憶も戻り大徳寺先生が消えたことを知りつつも俺
はパラドックスさん主催の大会を手伝うことになったその大会はな
んと

転生者によるデュエル大会

学園祭で何が起こるんだ？

学園祭前編・転生者デュエル大会・？ヨハンを募る少女（前書き）

ネーミングセンスないな？

学園祭前編・転生者デュエル大会・？ヨハンを慕う少女

「転生者デュエル大会？」シ

「ああ・どうもこの学園には転生者が入学希望者が多くいてな・学園祭の裏側にこれた人だけが参加できるのが転生者デュエル大会・俺達は名前で転生者がわかるから招待状を出した」ジ

「でも・・・OKもらったのですか？」シ

「大丈夫だ・鮫島校長には・試したい客がいるといったら普通にOKもらったぞ」パ

「一応返事が来たのは五人だがな」ジ

「なんやかんやで図書室を借りた（図書室は防音性が高いのだ）」

そして学園祭当日

そこには手紙で返事をした五人の転生者がいた

「やあみんな今回・この大会を企画した天豪ジロウと」ジ

「作者・パラドックスだ・今回は俺達の特別権限を使い・デュエルで素晴らしいショーを見せた者には・入学の権利を与えてあげよう・ルールは簡単・カードを引いて二人でレベルが10になるように対戦相手を見つける・勝利したら・今度は時間的に早く勝利した者が対戦相手を自由に決められる・この繰り返しで優勝したら文句なしの入学・より多くのパフォーマンスを見せるにはデュエルに勝つし

かない・では試合は11時から開始する」パ

「俺はレベル4か」シ

「私……レベル6……です」?

「俺の名前は械シン・君の名前は?」シ

「私……名前……茶等梨・フユアです」フ

「11時だ……デュエルを始める」パ

「「デュエル」「フユア&シン

「私のターン……苦渋の選択・デッキからホワイトパヒヨン三枚とローズパヒヨン二枚を選択」フ

「俺はローズパヒヨンを選択・選ばれたローズパヒヨン以外のカードは墓地に送ってもらう」シ

「私は天使の施し……三枚引いて二枚捨てる・一時休戦を発動・互いはカードをドロして次のターンまでダメージを受けない・カードを二枚セットしてターンエンド」フ

「俺のターン・俺はカードを二枚セットして・さらにリバーズモンスターをセットしてターンエンド」シ

「私のターン・サイクロンで右のリバーズを破壊・さらに死者蘇生を発動・ローズパヒヨンを蘇生・さらに速攻魔法・昆虫の交配・レ

ベル4以下の昆虫を特殊召喚した時・墓地とデッキから同名の昆虫を特殊召喚・これで三体のローズパヒオンが揃った・ローズパヒオンは自分フィールドに（ローズパヒオン）以外の昆虫が存在する時・ダイレクトアタックできる・レディ・カプトを守備表示で召喚・ローズパヒオン三体でダイレクトアタック」フ

「手札のバトルフェーダーの効果発動・ダイレクトアタック宣言に対して・このモンスターを特殊召喚することでバトルフェイズを終了する」シ

「無駄・天罰発動・手札一枚を捨て・相手モンスターの効果を無効にして破壊する」フ

「ちょ・マジかよ」シ

LP4000 - 4200" - 200

「漫画版ヨハンデッキか」パ

「漫画版ヨハンデッキ？」ジ

「この世界のヨハンは宝玉獣とゆうカテゴリーを使うが漫画版ヨハンは昆虫を使う・それにしても・初めて見たぞ・昆虫でワンターンでライフを削りとるの・しかもオーバーキル」パ

周りから俺も・私もとゆう声が聞こえてくる

「君なら文句は言われなだろ・入学の権利を与えるよ」パ

「あ……ありがとうございます……ごぞいます……私ヨハンさんが好きで作りました」フ

「さて……シン……貴様には今回は学園祭だからデュエルの補習は免除してやるが……罰として今から全員分のジュースと食い物持っ
てこい・現役生のプライドぐらい持て」パ

「はい……」シン

イエロー寮

「三沢・タコ焼きプリーズ」シ

「あっああ」三

「私もください」？

「……んっ……まさかこの声……」シ

「お兄ちゃん」？

「ヒナタ……どうしてここに」シ

「連れてきてもらったのスバルさんに」ヒ

「久しぶりね・シン」ス

「久しぶりだな……スバル？」シ

学園祭後編・ヒロイン春風スバルとの再開（前書き）

今回はデュエルなし

学園祭後編・ヒロイン春風スバルとの再開

春風スバル

彼女は初めて俺が初めてあった・・・転生者だった

彼女は宇宙に興味があるらしく本来は仮面ライダーフォーゼの世界に転生することを望んだ

しかし後に分かったことだが大ショッカーによる魔の手が伸びていて一度フォーゼの世界は滅びたらしい

いくら転生者といえども世界の再構築のさいイレギュラーとして扱われるため復活することはない

それを警告され彼女はネオスピーシアンとゆうカテゴリーに興味を持ちなおかつ彼女が知っている範囲内で転生したのがこの遊戯王GXの世界

彼女とはお互い転生前はどうだったのかなど話をしていてデュエルもした

ペガサスミニオンとなりしばらく妹の面倒を見てくれたのも彼女だ
つとゆうわけで彼女には頭が上がらない状況である

「私も来年から編入するんだ」ス

「へえ・来年度はかなり楽しくなりそうだな・・・そうだ・今転生

者デュエル大会をやってるけどやるかい？」シ

「面白そう・私も参加していい？」ヒ
ちなみにヒナタも転生者の存在を感知出来る神の世界からの使者である

その後俺達は学園祭を楽しんだ

五人は見事入学の権利をゲット

ただ五人に負けたジロウさんがパラドックスさんによって絞られたのは言うまでもない

夜

「やはり来ていたか・・・我が友・安道打空」パ

「・・・受け取れ」打

「これは・・・邪神ドレッドルートに・邪神アバター・・・なぜだ？・まだ光の結社は動いていないはず」パ

「悪いが・占いの結果と情報で・・・水面下にさいおうが動いていることが・判明した・・・来年度は俺も赴任するが・・・警戒したほうがいい・・・それと最悪なことにユベルが盗まれた」打

「結局はシナリオは最悪な方向に向かってるってことか」パ

「保険の第二プロジェクトはお前の判断で作動する・・・さらばだ」打

「保険を作つとくか」

三幻魔の復活？アンチは老人の精神を追い詰めます（前書き）

三幻神を入れた意味は？？

答はこれからの話でわかるように書いていきます

説明は原作と同じなので省く

ただウサ晴らしが足りないパラドックスさんは十代とデュエルさせるまで・・・そしてデッキの情報を知らないため無理矢理ジロウさん・パラドックスさん・俺とゆう布陣が出来ていた

パラドックスさん・・・ガチでストレス発散か？

それともラーもどきを倒すためか？

どちらとも言えないがまずはジロウさんから

「わしの先行・ドロー・トラップ三枚を生贄に神炎皇ウリア特殊召喚・カードを二枚セットしてターンエンド」影

周りには

いきなり攻撃3000？などが聞こえてきたが

ジロウさんは落ち着いていた

まさか

「俺のターンドロー・まずは大嵐を発動・互いのフィールドの魔法トラップをすべて破壊・さらに魂の解放・理事長の墓地のトラップをすべて除外」ジ

「なんだと・・・これではウリアの攻撃力は0だ」影

「さらにカードを三枚セットしてターンエンド」ジ

「わしのターンドロー・天よりの宝札に発動・さらに手札抹殺発動・これでウリアの攻撃力は3000だ」影

「手札抹殺にチェーン発動・マクロコスモス・このカードがある限り墓地に送られるカードはすべて除外される」ジ

「なんだと」影

ああもう理事長の顔が絶望したホセになってるよ

サイクロンや砂塵の大竜巻入ってないのかな

「カードを二枚セットしてウリアの効果でセットカードを破壊してウリアを守備表示にターンエンド」影

「俺のターン・手札から封印の黄金櫃を発動・ネクロフェイスを除外・さらにネクロフェイスの効果で互いはデッキの上からカードを5枚除外・闇の誘惑二枚発動・ネクロフェイスを二枚除外して4枚ドロー・プラス十枚除外・さらにハリケーンを使い理事長のリバースカードを手札に戻す・さらにバイスドラゴンを特殊召喚してバイスドラゴンを生贄にホムンクルス召喚・ホムンクルスの攻撃力は除外されている俺のカード一枚につき300アップする・俺の除外されているカードは29枚よって攻撃力・8700アップ・さらにメテオストライクを装備して攻撃」ジ

「馬鹿な」影

LP4000 - 10200" - 6200

「よくやった」パ

「だがまだ私には幻魔が二枚あるぞ」影

「あつそ・さつさと始めようぜ・」パ

「デュエル」パ&影

三幻魔の復活？三連戦は老人の精神を追い詰めます・その2

「俺の先行・ホルスの黒炎竜・レベル4と手札二枚をコストにマジックカード・レベルエポリーションによりいでよホルスの黒炎竜レベル6・さらにレベルアップを使いホルスのレベルを8に・天よりの宝札発動・これにより互いは手札を6枚になるようにドロースる・さらにカードを二枚セットしてターンエンド」パ

「私のターン・魔法カード三枚を生贄にいでよ降雷皇ハモン・ハモンでホルスを攻撃」影

「リバースカード発動・次元幽閉・攻撃モンスターを除外する」パ

「ウソダンドドコードン」影

ああ・今度はプラシドの絶望した顔だよ

まさかのイリアステルの三皇帝の先祖？

「カードを二枚セットしてターンエンド」影

おそらくミラフォだろうな

だがあの男は一步上に行く

「俺のターン・リバースカード発動・王宮のお触れ・さらに強欲な壺を使い二枚ドロース・バルバロスを召喚して二体でとどめ」パ

LP4000 - 4900" - 900

「だが私には最強の幻魔があるぞ」影

「理事長やめて」明

「老人にはこの三人の連戦は応えます」鮫

「老後を楽しく」ク

どうやら・俺達のデュエルに恐怖したため影丸を助ける案が出てるらしいが

妹に手を出そうとした相手に俺が許すと思うか

(神の許可を得て極悪チートドロウ与えたから三幻神なんて使わずにキメラティックのオーバーキルで絶望させてやれ)パ

(了解?)シ

「諦めきれるかこんなことで」影

「絶望するがいい」シ

「デュエル」影丸&シン

三幻魔の復活？三連戦は老人の精神を追い詰めますその3（前書き）

えげつない？

三幻魔の復活？三連戦は老人の精神を追い詰めますその3

「私の先行ドロワー・デビルズサンクチュアリを三枚発動・三体のデビルズトークンを生贄にラビエルを召喚・さらにカードをセットし・ジャイアントオークを召喚ターンエンド」影

「絶望するがいい・俺のターン・未来融合フューチャーフュージョでキメラティックオーバードラゴンを選択・デッキにある50枚の機械族を墓地に送り二ターン後の未来に召喚する・サイクロンでリバースカードを破壊・さらにハーフシャットで貴様のラビエルを選択・ラビエルは戦闘で破壊されない能力を得る変わり・攻撃力が半分になる・さらに天よりの宝札を使い互いは6枚になるようにドロウする・さらにパワーボンド・それにチェインしてサイバネティックフュージョンサポートを発動・墓地の機械族50枚を除外しいでよ攻撃力400000のキメラティックオーバードラゴン・さらにパワーボンドにより攻撃力は800000・さらにリミッター解除発動で1600000・さらにライフを半分払い・魔法カードパワーストでラビエルの攻撃力を0に」シ

「あわわわわ」ク

「これがシンの本気」十

「やめろ・やめてくれ」影

「キメラティックオーバードラゴンの50回攻撃」シ

LP4000 - 800000000 = - 79996000

その後影丸は病院に搬送され無事に三幻魔事件は終息した

推薦を勝ち取れ・タッグデュエル・ジロウ&隼人？クロノス&パラドックス・前

三幻魔事件が終息して二週間がたった

俺の問題のオーバーキルは吹雪さんに事情を話したら理解してもらい・・・みんなと和解した

吹雪さんは俺を弁護したことでパラドックスさんからの罰は軽い試験で済んだが

万丈目は次の日を休んだどうやら影丸が搬送された後パラドックスさんにこっぴどりと絞られすっかりトラウマになったらしい

そんななか前田隼人が呼ばれ俺は仲介役として彼の推薦に問題がないかチェックして問題がないと判断したが原作通りクロノス先生がデュエルを持ち掛けた

このまま推薦されるんだろうなと思ったら

「タッグデュエルで実力を証明しろ」パ

とパラドックスさんの鶴の一声で隼人はジロウさんとタッグを組むことに

その夜俺はジロウさんに呼ばれ事情を聞いた

「えっもう斎王が動いているんですか？」シ

「ああ・結構やばい状況だからこのデュエルで俺が前田隼人君をサポートできれば極秘プロジェクトに参加させると言った」ジ

「出来るんですか？・・・あの人は本気で倒しにかかってきますよ」
「分からん・けどやるしかないだろうな」ジ

そんな話をした次の日

デュエルが始まった

「俺の先行ドロロー・俺は手札のマシナーズ・フォートレスとアン
ティークギアを墓地に送り・フォートレスを特殊召喚カードを二枚
セットしてターンエンド」パ

「俺のターン・手札からモンスターをセット・さらにカードを二枚
セットしてターンエンド」ジ

「私のターンドロロー・私はレベルチェンジャーを発動・マシナー
ズフォートレスのレベルを一上げますーノ・さらに機械共闘・手札
にフィールドと同レベルモンスターが存在する時そのモンスターを
通常召喚出来ルーノ・いでよアンティークギアゴーレム・カードを
二枚セットしてターンエンドナノーネ」ク

「俺のターン・ドロロー・永続魔法・コアラ・コーラス・コアラと名
のついたモンスターが反転召喚するたびに200・ダメージ・俺は
モンスターをセット・さらに二重召喚でモンスターをセット・さら
に強欲な壺発動・デッキから二枚ドロロー・さらにリバースカードを
二枚セットして天よりの宝札・さらに太陽の書を発動・セットモン
スターはデスクアラ・パラドックス先生に2400のダメージとコ
アラコーラスで200ダメージ・再び太陽の書を使い・こつちもま
たデスクアラ・パラドックス先生に合計・2600ダメージだ（パ

ラドックス先生を倒せば勝機はある」隼

「残念デスーノ・トラップカード・ダメージ移行・このカードは三回目の効果ダメージ発生時発動・このカードはダメージを0にするノーネ」ク

「まだまだ・コアラコーラスはコアラが二回反転召喚した時・もう一度通常召喚できるんだなデスコアラ二体を生贄にビッグコアラを召喚・カードを二枚セットしてターンエンド」隼

「俺のターン・ドロー・手札のサイバーエルタニアンを三枚墓地に送りモニタージユドラゴンを特殊召喚モニタージユドラゴンは墓地に送ったモンスターのレベルの合計・×300となるよって攻撃力9000・いけモニタージユドラゴン・ビッグコアラに攻撃」パ
「ダメージは受けさせない・ガードブロック発動・ダメージを0にしてカードを一枚ドロー」ジ

「ありがとうございます」隼

「礼を言ってる場合か？・まだマシンナーズフォートレスの攻撃が残ってるぞ」ジ

「その通りだジロウ・マシンナーズフォートレスで前田隼人にダイレクトアタック」パ

「トラップ発動・身代わりバトル・モンスターが戦闘で破壊された後・相手モンスターの戦闘対象を別のモンスターとバトルさせる・ただし発生ダメージは0になる」隼

「やるな・・・カードを二枚セットしてターンエンド」パ

「俺のターン俺はバルバロスを妥協召喚・さらにバグロード発動・互いは自分フィールドのモンスターを選択して同レベルモンスターを特殊召喚する・俺はトライホーンドラゴンを特殊召喚」ジ

「俺の場にモンスターはいるが手札がないため召喚不可だ」パ

「なら私シーはアンテイクギアゴーレムを選択してアンテイクギアガジェルドラゴンを手札から召喚」ク

(ここからが正念場だ)

推薦を勝ち取れ・タッグデュエル・ジロウ&隼人？クロノス&パラドックス後編

「俺はバルバロスでモンタージウドラゴンに攻撃・速攻魔法・ロス
トスキルでバトルするモンスターの効果が無効にする・さらにバル
バロスは元の攻撃力に戻る」ジ

「ならば私はトラップカード・命の平等を発動・互いのライフを合
計値割る4としまスーノ」ク

全員のライフは3350となる

パラドックスLP350

「なら・速攻魔法突進を発動してトライホーンを強化。トライホー
ンドラゴンでパラドックスにとどめ」ジ

LP350 - 1000〃 - 750

「果たしてあなたたちに私のアンティークギア達を倒せますか？」ク

「トラップ発動・進化の奇跡・バルバロスを生贄にトライホーンド
ラゴンを進化させる・夢のために種を花に咲かせる竜よ・今この時
のために・かけがないの少年の未来を救うため・現れる・トライ
ホーンドラゴン・ガイア・ラゲナ」ジ

「これが大地の力を得たトライホーンドラゴン」シ

「行け・トライホーンドラゴングランドレイジ・大地の雄叫び・フ

オレストブレス」ジ

「マンマミーヤ」ク

LP3350 - 8000 = 2550

「カードを二枚セットしてターンエンド」ジ

「私のターン・ドロー・手札より融合発動・このカードを見せる時
が来るとは思わなかったノーネ・フィールドのアンティークギアゴ
ーレムとアンティークギア二枚を融合・いでよ古代の機械究極巨人・
さらにユニオンモンスターフュージョンサポーターを召喚して古代
の機械究極巨人に装備・このカードは装備モンスターの融合素材を
墓地から取り除くことで・効果破壊を無効にするノーネ・私はリミ
ッター解除を発動・これにより・古代の機械究極巨人は攻撃力88
00・さらにサイクロンを発動・ジロウ先生のリバースカードを破
壊」ク

187

「チエーン発動・死しても残すもの・俺はこのターン古代の機械究
極巨人の攻撃対象を俺にする代わり・俺の場のトライホンドラゴ
ンガイアラグナとりバースカード一枚を隼人君の場に移行させる」ジ

「先生」隼

「後は君自信の手で未来を切り開くん」ジ

「ならば死しても残すものの効果で強制攻撃対象となったジロウ先
生に攻撃ナノーネ」ク

LP3350 - 8800 = 5450

「さらにフュージョンサポーターの効果で私はアンテイクギアガ
ジェルドラゴンを除外してリミッター解除のデメリットを回避ター
ンエンドナノーネ（シニョール隼人・ジロウ先生はあなたに勝利の
ピースを託したと思うノーネ・あとはあなたが背負わなかった物に
目を向ける時ナノーネ）」ク

（トライホーンドラゴンガイアラグナには・強力なモンスター効果
があり・それに気づけばこのデュエルを終わらせる可能性を秘めて
いる・さあ今こそ羽ばたけ前田隼人）ジ

「俺のターン（エアーズロックサンライズ・デュエルの道をあき
らめる代わりにオーストラリア旅行を許されて・エアーズロック
の上でデッキを捨てれば・デュエルの道に関わりを持たないように
した・・・けど俺はエアーズロックサンライズを見て・そして様々
なデュエルで感じたこと・俺やっぱりデュエル好きなんだな・俺を
信じてカードを託したジロウ先生のためにも・これから作る未来の
ためにも俺はこのカードで道を切り開く）・エアーズロックサンラ
イズ発動・この効果により墓地のビッグゴアラを復活・さらに墓地
の獣族×100相手モンスターの攻撃力を下げる・さらにジロウ先
生が託したりバースカード・結束する魂・このカードはこのターン
モンスターを初めて特殊召喚する時自分フィールドのモンスターに
特殊召喚したモンスターの攻撃力をプラスする・融合発動・デスカ
ンガルーとフィールドのビッグゴアラを融合いでよマスターオブ
Z・結束する魂によりトライホーンドラゴンガイアラグナの攻撃力
にマスターオブOZの攻撃力をプラスする・さらにトライホーン
ドラゴンガイアラグナの効果発動・このカードは攻撃力がアップした
時・相手モンスターの攻撃力を半分にする」隼

「ナンデスと」ク

「よし・」ジ

「トライホーンドラゴンガイアラグナで古代の機械究極巨人を攻撃」
隼

「トラップ発動・スピリットバリア・自分フィールドにモンスター
が存在する時ダメージを0にする・さらに古代の機械究極巨人の効
果でアンティークギアゴーレムを特殊召喚」ク

「OZで攻撃」隼

「惜しかったノーネ」ク

「いえこれで終わりです・融合解除発動・マスターオブOZを融合
デッキに戻して墓地のビッグゴアラとデスカンガルーをフィールド
に召喚して二体で攻撃とどめだ」隼

LP3350 - 4200 〃 - 850

推薦を勝ち取れ・タッグデュエル・ジロウ&隼人？クロノス&パラドックス後編

デュエル後

見事前田隼人は推薦を勝ち取った

「まさかあの少年をここまで成長させるとは認めてやるよ」パ

「全くお前はこうなることを見越していたんだろ・策士としてスキル高すぎ」ジ

「さあな・とりあえず受け取れ」パ

「邪神ドレッドルート？まさか」ジ

「ああ安道が警告しにきた・もうすぐこの学園で戦いが起こるぞ・・・
壮絶な戦いがな」パ

「まつ期待通りになるように努力するさ」ジ

「頼んだぞ」パ

勝利への渴望？

「サイバーエンドドラゴンのカウンターアタック」シ

あの時俺はなんて愚かなことをしたんだろう

オネスト・・・藤原が気に入っていたフェイバリットカード

あのカードを持ってないとシンさんは言ったか？

あのカードのおかげで藤原とのタッグでは窮地を救われることが多かった

なのに俺は用心せず敗北した

・・・十代とのデュエルを始めるまえに・・・サイバーダークを使わない・本気のシンさんの本気デッキと戦いたい

Side 亮アウト

「さて・・・三幻魔の時は俺達が調子の上で使えなかった三幻神だが・・・使い方をマスターするまで扱いてやる」パ

「その前にパラドックス質問だ」ジ

「なんだ？」パ

「ナポレオンはウザイとは本当か？・・・しかもレッド寮を潰そうとするとは本当か？・俺・一応レッド寮長に出世するから心配でさ」ジ

「ああ・・・最悪の場合・邪神を使うか海馬に脅してもらおう」パ

「あのパラドックスさん」シ

「なんだ？」パ

「亮に呼ばれましたんで・今日はお開きに」シン・速攻で部屋を出る

「カイザーが何の用だ？」ジ

「まさかとは思うが・・・ジロウ・シンを追っぞ」パ

「心当たりは？」ジ

「ちよつとだがある」パ

港

「何の用だ？カイザー」シ

「・・・俺とデュエルだ・カオスデッキで」亮

「いいだろう・・・今のお前にはこのカオスが相応しい」シ

「デュエル」シン&亮

「ヘルカイザー？・あの丸藤亮が地獄を見るといふことか」ジ

「ああ・・・原作ではプロデュエリスト・エド・フェニックスに敗北したのが原因で地獄のデュエルを行い・そこで勝利を執着する・闇のデュエリストに変わった・・・原作通りなら問題ない・・・だがシ

ンが予想外にはやくサイバードークを手に入れる際・亮とデュエルをしている・さらに悪いことにシンはカミューラ戦のことを知っていた・丸藤翔が人質となり敗北するとほのめかしていた・もし今丸藤亮がヘルカイザーになろうとしているなら・原因はシンの優しさにある「パ

「そんな・・・あそこだ」ジ

「俺はサイバーツインドラゴンでサイバラーバアを攻撃」亮

「トランプ発動・サイバーサモンブラスター・これでお前に600ダメージだ」シ

「無駄だ・レインボーライフ・これにより俺に対するダメージは全て回復になる・再びサイバーツインドラゴンでサイバラーバアを攻撃」亮

LP4000+600=4600

「再びサイバラーバアを特殊召喚・これで」シ

「甘い・融合解除・サイバーツインドラゴンを融合デッキに戻して・墓地のサイバードラゴンを特殊召喚・サイバードラゴンでサイバラーバアを攻撃・さらにサイバードラゴンでダイレクトアタック」亮

LP4000-2100=1900

「リバーズカードを二枚伏せてターンエンドだ・・・どうだ・・・これが俺の本気だ」亮

「やはりな・・・お前は貪欲に勝利を求めている・・・渴きを満たそうとしているな」シ

「どうゆうことだ」パラドックス&ジロウ

「お前はかつての俺のように理由は違うが・渴きがある・・憧れていた俺に本気で勝とうとする・本気で越えようとしている・そうじゃないのか？」シ

「確かに・・・だが今この状況をどうやってひっくり返す？」亮

「行くぜ見せてやるよ・兄弟子が得意とする・カオスの力を・俺のターンドロウ・手札から苦渋の選択を発動・俺はデッキより・ライトロードのケルビムとジェインとライトロードビーストウォルフを二枚とライラを選択」シ

「ウォルフはデッキから墓地から捨てられた時特殊召喚されるため・ウォルフを選択」亮

「正解だ・いでよウォルフ二枚・さらに天使の施しで三枚引いて二枚捨てる・さらに・ジャツジメントドラグーンを特殊召喚して一掃・さらに墓地のバイスドラゴンとウォルフを除外・いでよ開闢の使者・二体でとどめだ」シ

LP4600 - 6000 = 1400

「どうだ・・・これが親父から受け継いだカオスを俺流に改造した・ライトロードカオスだ」シ

「やっぱりあなたはすごいです・・・わざわざお時間いただきありがとうございます」亮

その次の日

「決戦融合ファイナルフュージョン発動」十

十代&亮LPO

「任せたぞ・在校生」亮

「ああ任せろ・卒業生」十

こうして亮はプロリーグに向かって歩き出したのだった

勝利への渴望？（後書き）

「ところでなんで昨日ジロウさんとパラドックスさんは俺を追ったんですか？」シ

「……………パラドックス」ジ

「まさか……………亮がヘルカイザーになると勘違いして……………シ

「今回ばかりはスマン」パラドックス・全力疾走

「余計な心配させといて…ふざけんな」ジロウ&シン

この壮絶な鬼ごっこは次の日の朝まで続き・最終的にパラドックスさんは俺の部屋に吊されていた

第一章

G X・三幻魔編

完結

第二章開幕・運命の始まりエド・フェニックス

新学期前日

「来たか・打空」ジ

「パラドックスはどうしている？」打

「デッキ調整中だ・それとこの借りていた時械神デッキを返却する」ジ

「・・・転生者を識別しろと？」打

「ああ・一応学園祭中に呼び出すことに成功した子供達は異常はなし・・・だが念のためだそうだ」ジ

「了解した・俺はこの火炎ようへいに近づいてみよう・噂では世界を越えて呪われたプラネットシリーズがこの世界に紛れ込んだらしいからな」打

「頼む」ジ

次の日

「はい・皆さん・わたくしがこのデュエルアカデミア校長・クロノス・デ・メデイチナノーネ」ク

新学期が始まった
スバルは無事編入

そして学園祭で出会った転生者とも会いこのまま平和が続けばいいな

だが

「おい・シン・このデッキ持ってレッド寮に行つてエド・フェニックスの様子を見てこい」パ

当然この人は問答むように問題に首を突っ込ませませす

まっエドとはペガサスミニオンの時に会つてる友達だからいいけど
すると

「行け・スパークマン・バブルマン・フェザーマン・ダイレクトア
タックだ」十

「くっ」エ

とりあえず・エドが離れたところを狙つてエドに話しかけた

「やあ・エド」シ

「シン・シンさんじゃないですか・お久しぶりです」エ

「いや、最後に会つたのはプロリーグの入試だったか」シ

「ええ・・・とりあえず学園最強の遊戯十代と戦いましたが・・・満
足できません・・・できたらデュエルしてくれますか？」エ

（パラドックスさん・あんた絶対この展開狙つたる・後ろにいるし・

生徒一人連れてるし)

「まあ・いいだろう」シ

「デュエル」エド&シン

「俺の先行(手札すべて魔法かよ・しかも死者蘇生やブラックホール・闇の誘惑・光の護封剣封印の黄金櫃にうちでの小槌・まずは)封印の黄金櫃発動・デッキからカードを一枚除外して二ターン後・除外したカードを手札に加える・・・(何?このインゼクターってカテゴリー・・・とりあえずドラグニティと似てると認識しよう・俺はヴァリアブル・フォームを除外・さらにうちでの小槌発動・手札のカードをデッキに戻して戻した枚数分ドロウする・俺は三枚デッキに戻す・さらに三枚ドロウ・俺は光の護封剣を発動・さらにインゼクターセンチピートを召喚・ターンエンド」シ

「僕のターンドロウ・僕は天空の聖域を発動・さらにゼラの戦士を召喚・さらにゼラの戦士を生贄に大天使ゼラートを特殊召喚・さらにゼラートの効果・手札の光属性を墓地に送り・相手モンスターすべて破壊・カードを二枚セットしてターンエンド」エ

「俺のターン(そっぴや融合デッキを確認してなかったなモンスターエクシーズは・・・なるほど)俺は大嵐を発動・これにより互いのリバースカードをすべて破壊・さらに天使の施しで三枚引いて二枚ドロウ・さらに地砕きでゼラート破壊・さらに天よりの宝札で互いは手札を6枚になるようにカードをドロウ・さらに二重召喚発動・これで俺は通常召喚をもう一度行える・インゼクター・アーマイゼとセンチピートを召喚・さらに二体の特殊効果で墓地のインゼクターホーネットとインゼクターダンゼルを装備・さらに装備カードとなったこいつらの効果で装備モンスターのレベルは3上がる・レベ

ル6のモンスター二枚でオーバーレイ・ネットワークを構築・エクシーズ召喚・インゼクターエクサビートル・さらに手札からインゼクターギガマンティスをエクサビートルに装備・ギガマンティスの効果でエクサビートルの攻撃力は2400・ダークゾーン発動・これにより・天空の聖域は消える・さらに闇属性モンスターの攻撃力を500アップ」シ

「それだけじゃ僕を倒せませんよ・もつとも・エクシーズ素材を使つてとどめの方程式は完成ですか」エ

「その通り・エクサビートルはエクシーズ素材を一つ使い・相手の墓地のモンスターを装備することができる・エクシーズ素材を使い俺はゼラートを選択してエクサビートルに装備・さらに装備したモンスターの攻撃力の半分をプラス・行けエクサビートル・マンティスランス」シ

「ぐわっ」エ

LP4000 - 4300〃 - 300

「それじゃ・また今度お会いしましょう・プロは忙しいので」エ
「ああ」シ

(斎王の予言の内容に十代はなつとくできなかつたが・・・シンさんは今のデュエルで納得できた・・・再戦が楽しみだ)

十代三人目の弟分？E？M（前書き）

遅れてすみません???

十代三人目の弟分？E？M

十代が俺のところに来て来た

どうやら原作より激しく新しい弟分・剣山と翔との言い争いが激しく十代は寝不足の事態に陥っていた

「ふむ・とりあえず狩りを始めるか・・反省してもらわないとな」シ

「頼む」十

「私もやるわ・特に恐竜君には女子の間で迷惑がかかってるし」ス

シン&スバル・部屋を出る

「よお・十代・お前に気持ちいい相手連れてきたぞ」ジ

「誰ですか？」十

「あ・・あの初めまして・真救英優といます・・デュエルしてくれませんか？」英

「いいぜ」十

「デュエル」十代&英優

「俺の先行・ドロー・手札からEHEROクレイマンを守備表示で召喚・さらにカードを二枚セットしてターンエンド」十

「僕のターン・ドロー僕はMHERO・バソールを攻撃表示で召喚・
」英

「君もHERO使いか」十

「あつはい・正直あなたを見るまでこの学園の中等部から上がるのに迷ってました・デュエルを楽しまないエリート意識に嫌気がさして・だけどあなたがいたから僕はこの学園に來れました・あなたの純粹にデュエルを楽しむ心・そこに惹かれました」英

「つくく・やつぱりデュエルは楽しくないとな」十

「はい・僕はカードを二枚セットしてターンエンド」英

「俺のターン・俺は融合発動・手札のフェザーマンとバーストレディを融合・いでよ・エレメンタルHERO・ノバアマスター・ノバアマスターでバソールを攻撃」十

「速攻魔法・マスク・チェンジ・セカンドを発動・手札を一枚捨て・MHERO一体をレベル8のMHEROに変身召喚させる・バソールを変身・いでよマスクDHERO・ダイアン」英

「攻撃力2800!?!?ノバアマスター・攻撃中止・ターンエンド」十

「僕のターン・MHERO・烈火を召喚・さらにダイアンでノバアマスターを攻撃」英

「かかった・速攻魔法誘導・そしてクレイチャージ」十

「しまった・ダイアンが・・・」英

LP4000 - 8000 = 3200

「カードを二枚セットしてターンエンド」英

「俺のターン・大嵐を発動・さらにスパークマンを召喚・バトル・ノバアマスターで烈火を破壊・デッキからカードを一枚ドロ・さらに融合解除」十

「そんな」英

「行け・バーストレディ・フェザーマン・さらにスパークマンでダイレクトアタック」十

LP3200 - 4900 = 1700

「ふー・・・ガツチャ！・楽しいデュエルだったぜ」十

「ありがとうございました」英

狩りの始まり・春風スバル対ティラノ剣山（前書き）

ヒロイン初デュエル

狩りの始まり・春風スバル対ティラノ剣山

さて私は今シンと一緒にレッド寮前にいます

恐竜君と乗り物は反省してません

理由は

「先輩（剣山君）が悪いんだ」翔&剣山

はあ

十代は主人公だからってこんなくだらないことで苦労するなんて
かわいそう

本当の弟分なら影でやりなさい
反省が全くないのでシンは乗り物君を

私は後輩の女子から嫌われている恐竜君とデュエルすることにした

「デュエル」剣山&スバル

「俺のターンだドン・俺は手札からカード一枚をコストにマジック
カードトラップブースターを発動だどん・これによりこのターン一
枚だけトラップカードを発動出来るドン・俺は血の代償を発動・ま
ずは通常召喚権利を使い・ブラックプテラを召喚するザウルス・さ
らに強欲な壺を発動だドン・デッキから二枚ドロウするドン・さら

にブラックプテラを生贄に大進化薬を発動するドン・これによりこのターンから数えて三ターン恐竜族モンスターの召喚に生贄はいらないドン・さらに血の代償の効果起動条件としてライフを500を二回払い・いでよ究極恐獣アルティメットティランそして暗黒恐獣ブラックティランさらにブラックプテラは戦闘以外の方法で墓地に送られたため手札に戻るドン・ターンエンド」剣

LP4000 - 10000 = 3000

「ふーん・これで同学年からライフを削り取る戦術ね・ただの能無しのパワーデッキじゃないの」ス

「偉そうなこと言わずにさっさとドロウするドン」剣

「いいわよ・・・ただしあなたには屈辱の敗北を見せてあげるわ・私のターンドロウ・フィールド魔法・冬の夜空を発動・これにより恐竜族モンスターは攻撃力を千ダウンする・さらにこのカードと手札の鳳凰の救済誘惑の発動条件として鳳凰・フレイムゴッドバードを含む手札すべてを除外発動・このカードが発動されたターン・冬の夜空で攻撃力がダウンしたモンスターの攻撃力をもとに戻すかわりに元に戻ったモンスターのコントロールを得る」ス

「卑怯だドン」剣

「もちろんデメリットもあるわよ・エンドフェイズにコントロールを相手に返してコントロールを返したモンスターの攻撃力の合計のダメージを受ける・だけどこのターンで終わり・暗黒恐獣と究極恐獣でダイレクトアタック」ス

LP4000 - 5600 = 1600

「十代のアニキがそんなに？それは本当にすまないドン」剣

「反省すればよろしいよ恐竜君」ス

「恐竜君って」剣

「恐竜デツキだから恐竜君・嫌だったらごめんね」ス

「いや??悪くないドン」剣

「キメラティック・フォートレスドラゴンでダイレクトアタック」シ

「あーあ・・・またえげつない勝ち方しちゃった」ス

「えげつない勝ち方？」剣

「シンはね・・・現実を教えるためにあえて相手に有利なカードを渡してそれ以上の力で叩き潰すの・・・実際・乗り物君の手札にはエクスチェンジであえてシンが渡したカードは乗り物君の手札にパワーボンドがあつた・デュエルをちよくちよく見てたけど・あれを使えば乗り物君にはまだ希望があつたわ」ス

「うっう」翔

「亮に頼まれて面倒を見てるが・・・ダメなのか」シ

狩りの始まり・春風スバル対ティラノ剣山（後書き）

ようやくネタがまとまりさらには携帯を変えるので来週から短い期間で連続掲載ができそうです

ここでアンケートを取ります

スバルとシンはGX編終了後結婚しますがその血をひく人を主人公とした物語を別に書きたいと思います

物語の舞台はファイブデイズとゼアルです

主人公の性別その他ご要望がありましたら感想に書いてください

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4008v/>

遊戯王GX・栄光と引き換えの転生

2011年12月26日23時56分発行